

消 防 年 報

令 和 4 年 版



対馬博物館

対馬市消防本部

編集にあたって

令和４年版年報は、令和３年及び令和３年度中における対馬市消防本部の実態を収録し、消防本部、消防団いわゆる対馬市消防の実績を広く紹介する目的をもって編纂しました。なお、収録にあたっては、令和３年中を対象にしましたが、予算に関係あるもの等については会計年度をもって収録しました。

この年報が関係機関並びに広く各方面に活用され、対馬島の消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いです。

令和４年５月２４日

対 馬 市 消 防 本 部

目 次

管内の紹介	1
位置・管内図	2
管轄区域の状況	3
署所所在地・庁舎等	3
沿革の概要	4～22

◎ 一 総 務 一 ◎

消防組織	23
事務分掌	24～28
歴代消防長・消防署長等	29
消防相互応援協定等	30
消防予算・決算状況	31
職員の採用・退職状況	32
職員の階級別配置状況	32
職員の階級別年齢別状況	33
職員の階級別勤続年数状況	34
職員の研修等の状況	35
職員の免許・資格等取得状況	36

◎ 一 予 防 一 ◎

防火対象物現状表（署所別） 1 5 0 m ² 以上	37
防火対象物査察状況	38
火災予防指導等	39
消防用設備等着工届出等	40
火災予防条例等による届出等	41
消防法第7条に基づく同意	
（イ）構造別・工事別	42
（ロ）用途別	43
（ハ）消防用設備等別	43
対馬市少年婦人防火委員会組織図	44
危 険 物	
（イ）署所別施設一覧表	45
（ロ）規模別施設一覧表	46

（ハ）署所別・容量別屋外タンク貯蔵所	47
（ニ）危険物施設許可等	47
危険物施設査察状況	48

◎－警 防－◎

消防力の状況

（イ）消防本部・消防署	49
（ロ）消防団	49
（ハ）消防水利・市街地等	50
（ニ）署所別消防車両等	51
独居老人・寝たきり老人訪問指導	52
署所別降雨量状況	53

◎－通 信－◎

高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の概要	54
指令装置	54
指令システム系統図	54
消防無線設置状況図	55

◎－火 災－◎

過去10年間の火災発生状況	56
過去5年間の火災損害額状況	56
過去10年間の署所別火災発生状況	57
過去10年間の署所別火災損害額状況	57
火災種別一覧表	58
覚知別火災発生状況	59
町別火災発生状況	60
気象別火災発生状況	61
月別・曜日別・時間別火災発生状況	62
原因別火災発生状況	63
主要火災	64

◎ 一 救 急 一 ◎

救急一目統計	65
過去10年間の救急活動の推移	66
過去10年間の救急告示病院搬送の推移	67
過去10年間の島外搬送の推移	68
1. ヘリコプター搬送診療科目別状況	68
2. 島外搬送機関別状況	68
過去5年間の事故種別救急活動の推移	69
過去5年間の救急活動の推移	69
過去5年間の傷病程度別の推移	70
事故種別・月別救急状況	71
署所別・月別救急状況	72
事故種別・署所別出場状況	73
事故種別・曜日別出場状況	73
事故種別・時間別出場状況	74
事故種別・傷病程度別・性別搬送状況	75
事故種別・年齢区分別・性別搬送状況	76
署所別・医療機関等別搬送状況	77
医療機関等への収容所要時間別搬送状況	78
病院等の要請による救急出場件数及び搬送人員	78
救急隊による応急処置状況	79
覚知別出場状況	79
過去5年間の月別普通救命講習受講者数	80
町別・月別普通救命講習受講者数	80

◎ 一 救 助 一 ◎

救助活動事故種別状況	81
事故種別・出動人員活動人員状況	81
救助活動事故種別・発生場所別状況	82
救助活動のための機械器具等保有状況	83

◎ 一 消 防 団 一 ◎

消防団の機構図	84
消防団員の階級別・年齢別状況	85
消防団階級別人員	86
消防団手当・助成金等	86

管内の紹介

対馬市である対馬島は東西約 18km、南北約 82km と細長く、面積は約 707k m² で日本では 3 番目に大きい島である（沖縄、北方領土を除く）。

島の 17% は国定公園に指定されている。島を南北に分ける日本最大のリアス式海岸をもつ浅茅湾は、無数の小島と岬が交錯し、海上から島と岬を分別するのは難しい。

この浅茅湾には、海上自衛隊の基地があり、1900 年（明治 33 年）に旧日本海軍が東シナ海と日本海に通じる万関瀬戸を開削したため、島は上島と下島に分かれた。

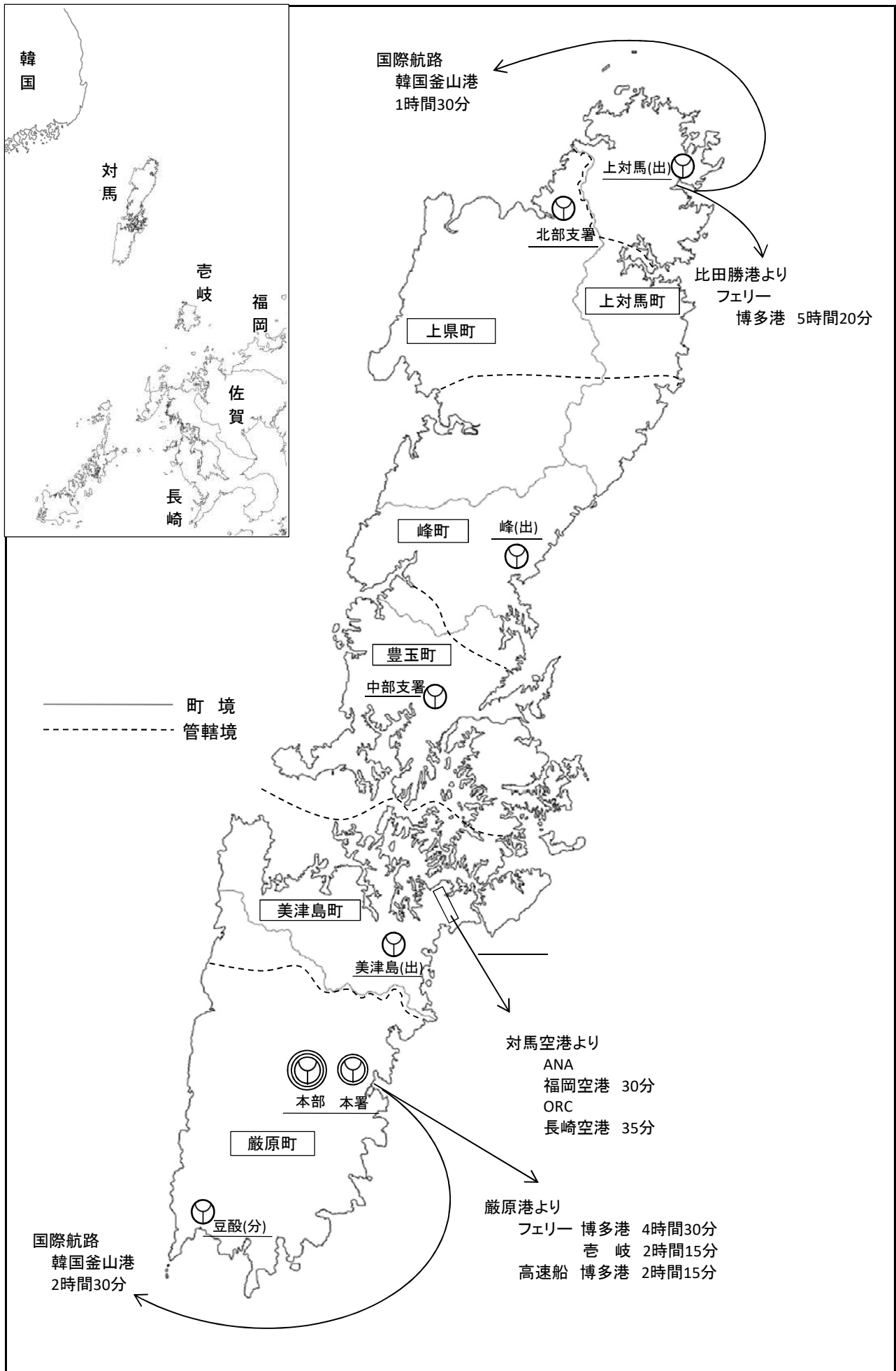
北は海峡を隔てて、韓国までわずか 49.5km で天気のよい日には肉眼で韓国が遠望できる。このような地理的位置ゆえ、古くから日本列島と大陸の接点として、文化的、経済的交流の中継地として極めて重要な役割を果たしてきた。

島の 89% は山林で、深い山々が連なっており、天然記念物のツシマヤマネコやツシマテンが棲息し、ツシマジカは全島的に見られる。

島の基幹産業は水産業が重要な位置を占めており、中でも真珠の養殖は全国的に有名である。農業は耕地が少なく島民の自給にも満たない。反対に林業は計画的に植林が進められ、椎茸は、対馬島の特産品となっている。

観光においては、邪馬台国の古代より大陸と日本の接点として受け継がれ、日本最初の山城である金田の城（かなたのき）や日本三大墓所のひとつ万松院など歴史的文化的遺産と風光明媚な自然景観から成り立っている。又、今年度より対馬のあゆみを紹介した対馬博物館が開館したことで、更なる観光事業の促進が期待される。空路は福岡間及び長崎間に定期航路を持ち、旅客機が往復しており、海路は旅客フェリー、高速船ジェットfoilが就航している。

位置・管内図



管轄区域の状況

(令和4年4月1日現在)

管 轄 区 域 面 積	707.42 km ²
-------------	------------------------

別	人口			世帯数
	計	男	女	
合 計	28,633 人	14,158 人	14,475 人	14,696 世帯
本 署	8,749 人	4,401 人	4,348 人	4,821 世帯
豆 酸 分 遣 所	1,394 人	675 人	719 人	774 世帯
美 津 島 出 張 所	6,498 人	3,169 人	3,329 人	2,979 世帯
中部支署	4,021 人	1,967 人	2,054 人	1,988 世帯
峰出張所	3,679 人	1,799 人	1,880 人	1,866 世帯
北部支署	1,564 人	765 人	799 人	851 世帯
上 対 馬 出 張 所	2,728 人	1,382 人	1,346 人	1,417 世帯

署所所在地・庁舎等

(令和4年4月1日現在)

署所	所在地	建築年月日	構 造	延面積
本 部 本 署	対馬市厳原町棧原 52番地2	平成9. 3. 31	鉄筋コンクリート 3階建	1,986.3m ²
豆酸 分遣所	対馬市厳原町豆酸 2697番地	平成26. 2. 28	鉄筋コンクリート 平屋建	256.5m ²
美津島 出張所	対馬市美津島町雞知 甲550番地2	平成20. 8. 31	鉄筋コンクリート 平屋建	222.4m ²
中部支署	対馬市豊玉町仁位 935番地8	昭和49. 3. 31 増築22. 12. 21	補強コンクリートブロック 平屋建	150.4m ² 38.4m ²
峰出張所	対馬市峰町佐賀 608番地1	平成27年3月26日	鉄筋コンクリート 平屋建	328.86m ²
北部支署	対馬市上県町佐須奈 甲639番地5	平成23. 3. 28	鉄筋コンクリート 平屋建	402.2m ²
上対馬 出張所	対馬市上対馬町西泊 111番地	令和4. 1. 18	鉄筋コンクリート 平屋建	326.25m ²

沿 革 の 概 要

昭和49年中

- 3. 28 ポンプ車3台購入（本署、豊玉、上県出張所）
- 4. 1 対馬総町村組合消防本部発足
初代消防長 酒井 豊 就任
対馬総町村組合消防署発足
初代消防署長 苑田 幸人 就任
消防職員36名採用
- 4. 15 危険物業務長崎県より引き継ぐ
- 5. 9 救急車受贈（日本自動車工業会）本署
- 5. 29 救急車受贈（日本自動車工業会）豊玉、上県出張所
- 5. 30 指令車購入 本署
- 6. 1 本部、本署業務開始（救急業務を含む）
- 10. 17 対馬消防連絡協議会発足
- 12. 1 豊玉、上県出張所業務開始

昭和50年中

- 4. 17・18 防火管理者講習会（本署）
- 5. 8・9 防火管理者講習会（上対馬町中央公民館）
- 6. 14 第二代消防長 前間 重幸 就任
- 7. 2 指令車購入 上県出張所
- 8. 26 指令車購入 本署（旧本署分は豊玉出張所へ）

昭和51年中

- 3. 28 消防無線設置 本署、豊玉、上県出張所
- 4. 1 消防職員20名採用
- 7. 5 消防大学校第18期上級幹部科1名入校 8. 5 卒業
- 7. 9・10 第1回昇任学科試験（消防司令補、消防士長）
- 7. 23 救急車受贈（全国農業連合会）峰出張所
- 7. 24 ポンプ車3台購入 美津島、峰、上対馬出張所
- 7. 28 第1回昇任術科試験
- 8. 1 消防司令補4名、消防士長6名、消防副士長5名昇任
- 9. 20 消防大学校第21期予防科1名入校 12. 18 卒業
- 10. 1 消防職員1名採用
消防司令補1名 消防士長2名 昇任
- 10. 29 救急車受贈（日本損害保険協会）美津島出張所
- 11. 1 第二代消防署長 湊 俊郎 就任

	美津島、峰、上対馬出張所業務開始
11. 23	消防無線設置 美津島、峰、上対馬出張所
昭和52年中	
3. 28	大型化学車購入 本署
4. 1	消防職員6名採用
6. 28	指令車3台購入 美津島、峰、上対馬出張所
9. 21	救急車受贈（日本船舶振興会）上対馬出張所
10. 1	消防士長1名 昇任
10. 13	各出張所1名増員 9名体制
10. 17	予備ポンプ車購入
昭和53年中	
1. 1	消防士長1名 昇任
4. 1	消防職員5名採用
5. 15	血液供給対策事業開始（血液輸送業務受け持つ）
9. 13・14	第2回昇任学科試験
9. 26	消防大学校第3期危険物保安科1名入校 12. 20卒業
11. 1	消防司令補4名 昇任
	各出張所1名増員 10名体制
昭和54年中	
2. 16	化学車購入 上県出張所
7. 5	第三代消防長 梅野 貞省 就任
11. 20	林野火災特別地域指定（管内全域）
11. 23	救急医療情報システム（キャラクタディスプレイ装置）試験開始
昭和55年中	
2. 15	厳原病院、上対馬病院を救急病院に指定
3. 17	第3回昇任学科試験
3. 21	第3回昇任術科試験
3. 26	対馬島消防大会（日本消防協会 笹川良一氏来島）
3. 27	軽可搬式動力ポンプ1式5基購入（林野火災特別地域対策事業）
6. 1	消防士長2名 消防副士長3名 昇任
	各出張所に所長任命
7. 1	第2次救急医療体制確立（国立対馬病院、厳原病院、上対馬病院で輪番制）
8. 7	長崎県消防長会予防担当課長会議開催（本署）
11. 1	対馬総町村組合火災予防条例全部改正施行
11. 12・13	防火管理者講習会（本署）
11. 16	第1回署所対抗駅伝大会（5区間 40. 2km）

優勝 峰出張所チーム

昭和56年中

- 3. 10 職員待機宿舎建設（2戸建 豊玉出張所）
- 4. 1 消防職員2名採用
- 4. 17 国立対馬病院を救急病院に指定
- 4. 24 第四代消防長 長郷 哲夫 就任
- 9. 1 厳原町阿連地区を本署より美津島出張所に管轄変更
- 10. 21 消防大学校第23期上級幹部科1名入校 11. 19卒業
- 11. 20 第2回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）

昭和57年中

- 3. 29 職員待機宿舎建設（4戸建 上県、峰出張所）
- 4. 1 第三代消防署長 川上 眞澄 就任
消防職員4名採用
- 7. 8 長崎県消防長会消防署長会議開催
- 9. 16 救急車受贈（日本消防協会）豊玉出張所
- 11. 20 第3回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
- 11. 24・25 防火管理者講習会（本署）
- 11. 30 指令車購入（本署）

昭和58年中

- 1. 12・13 防火管理者講習会（峰町対馬青年の家）
- 3. 1 長崎県知事との協定に基づき空港出張所開設
職員4名、化学消防車、ドライケミカル車配置
- 3. 2 第1回消防職員意見発表会（対馬支庁）
- 3. 22 職員待機宿舎建設（4戸建 上対馬、2戸建 豊玉出張所）
- 4. 1 消防職員3名採用
- 5. 10 第1回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 20 消防大学校第24期救急科1名入校 12. 21卒業
- 10. 26 第4回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）
- 11. 24・25 防火管理者講習会（本署）
- 12. 6 血液輸送車受贈（長崎赤十字血液センター）

昭和59年中

- 2. 27 救急車受贈（日本損害保険協会）本署配置
- 3. 5 第2回消防職員意見発表会（厳原町文化会館）
- 5. 23 消防本部、消防署開設10周年記念行事（峰町）
- 6. 1 第2回対馬空港合同消火救難訓練
- 11. 1・2 第4回昇任学科試験（消防司令補、消防士長）

1 1. 8	第 5 回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）
1 1. 1 3	第 4 回昇任術科試験
昭和 6 0 年中	
3. 6	第 3 回消防職員意見発表会（十八銀行対馬支店）
3. 2 5	救急車購入 上県更新配置
4. 1	消防組織一部変更
	第五代消防長 根ノ 勝男 就任（組合事務局長兼務）
	第四代次長 川上 眞澄 就任（署長兼務）
	副署長、出張所長を管理職に
	消防司令 1 名 消防司令補 3 名 消防士長 6 名 消防副士長 1 2 名 昇任
3. 5	長崎県消防長会消防職員意見発表会開催（厳原町文化会館）
6. 2 5・2 6	防火管理者講習会（本署）
6. 4	第 3 回対馬空港合同消火救難訓練
6. 2 0	指令車購入（豊玉出張所更新配置）
6. 2 2	長崎県防災無線設置 運用開始
6. 2 3・2 7	異常降雨 厳戒体制（総雨量 1, 0 3 2 mm）
9. 2 4	消防大学校第 3 9 期予防科 1 名入校 1 2. 2 0 卒業
1 0. 9	第 6 回署所対抗駅伝大会（優勝 本署チーム）
昭和 6 1 年中	
3. 4	第 4 回消防職員意見発表会（厳原町商工会館）
4. 2 2	木檜山（しょうぼうつしま）無線局開局
5. 7	消防大学校第 3 3 期上級幹部科 1 名入校 6. 4 卒業
5. 8・9	防火管理者講習会（厳原町商工会館）
6. 4	第 4 回対馬空港合同消火救難訓練
1 0. 1 3	第 7 回署所対抗駅伝大会（優勝 本署チーム）
1 1. 2 2	C D - 1 型ポンプ車購入（本署更新配置）
1 2. 1 0	対馬少年婦人防火委員会設立
昭和 6 2 年中	
2. 1	豊玉町千尋藻婦人防火クラブ結成
3. 1 3	第 5 回消防職員意見発表会（上対馬町中央公民館）
4. 1	「空港出張所」を「空港警備所」に改称
	対馬婦人防火クラブ連絡協議会結成
6. 1 1	第 5 回対馬空港合同消火救難訓練
7. 2 0	指令車購入（上県出張所更新配置）
8. 1	美津島町鶏鳴少年消防クラブ結成
8. 3 1	台風 1 2 号対馬地方に多大の被害を与える

9. 3 0	C D - 1 型ポンプ車 2 台購入（豊玉、上県出張所更新配置）
1 0. 8・9	第 8 回署所対抗駅伝大会（優勝 上対馬出張所チーム）
1 1. 1 2	厳原町親愛保育園幼年消防クラブ結成
1 1. 2 6	厳原権現山消防無線中継塔新設（台風 1 2 号被害により）
昭和 6 3 年中	
2. 1	上対馬町鰐浦地区婦人防火クラブ結成
3. 1 2	第 6 回消防職員意見発表会（美津島町文化会館）
4. 1	第四代消防署長 小西 清明 就任 峰町佐賀保育所幼年消防クラブ結成
5. 2	美津島町鶏鳴幼稚園幼年消防クラブ結成
6. 1	消防大学校第 4 3 期警防科 1 名入校 7. 2 1 卒業
6. 1 4	第 6 回対馬空港合同消火救難訓練
8. 3 0	救急車受贈（日本消防協会）上対馬出張所配置
9. 1 9・2 0	第 9 回署所対抗駅伝大会（優勝 本署チーム）
1 0. 1 4	C D - 1 型ポンプ車購入（上対馬出張所更新配置）
1 0. 2 5・2 6	甲種防火管理者講習会（本署）
1 0. 2 7	乙種防火管理者講習会（本署）
平成元年中	
3. 4	救急医療研究会（対馬いづはら病院）
3. 1 1	第 7 回消防職員意見発表会（峰町中対馬開発総合センター）
4. 1	第五代次長 小西 清明 就任
5. 1 1	消防大学校第 3 8 期上級幹部科 1 名入校 6. 9 卒業
6. 1 3	第 7 回対馬空港合同消火救難訓練
7. 2 0	厳原町厳原、北、久田幼稚園幼年消防クラブ結成
9. 1 3	C D - 1 型ポンプ車購入（美津島出張所更新配置）
1 0. 2	水槽付ポンプ車受贈 本署配置（日本損害保険協会）
1 0. 4・5	第 1 0 回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
平成 2 年中	
1. 2 6	豊玉町仁位保育所幼年消防クラブ結成
2. 1	消防士長昇任学科試験
2. 2	消防司令補昇任学科試験
3. 8	救急車購入（峰出張所更新配置）
3. 1 6	第 8 回消防職員意見発表会（豊玉町）
3. 1 7	救急隊員研修会（対馬いづはら病院）
3. 2 6	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
4. 1	消防職員 4 名採用

		消防司令補 4 名 消防士長 2 名 消防副士長 9 名 昇任
5.	2 1	天皇、皇后両陛下御来島
5.	2 2	上県町佐須奈、佐護、仁田、伊奈、久原保育所幼年消防クラブ結成
7.	2 9	豊玉町南保育所幼年消防クラブ結成
9.	1	巖原町豆酏幼稚園幼年消防クラブ結成
9.	1	巖原町南、佐須保育所幼年消防クラブ結成
1 0.	8	C D - 1 型ポンプ車購入（峰出張所更新配置）
1 0.	1 6 ・ 1 7	第 1 1 回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
1 0.	2 5 ・ 2 6	甲種防火管理者講習会（対馬支庁別館）
1 1.	2 2	第 8 回対馬空港合同消火救難訓練
平成 3 年中		
1.	8	消防長事務代理 小西 清明 就任
1.	2 8	消防士長昇任学科試験
2.	2 0	消防士長、消防副士長昇任術科試験
3.	1 4	第 9 回消防職員意見発表会（上県町）
3.	2 5	救助資器材一式購入（本署）
4.	1	第六代消防長 安藤 茂喜 就任 第六代次長兼第五代消防署長 小田 幹雄 就任 消防職員 3 名採用 消防司令 3 名、消防士長 8 名、消防副士長 1 1 名昇任 豊玉町小綱、乙宮保育所幼年消防クラブ結成
4.	4	消防大学校第 1 1 期幹部研修科 1 名入校 6. 1 4 卒業
6.	1 2	峰町三根、志多賀保育所幼年消防クラブ結成
6.	1 7	第 9 回対馬空港合同消火救難訓練
6.	2 8	指令車購入（峰、上県出張所更新配置）
1 0.	1	峰町櫛保育所幼年消防クラブ結成
1 0.	8 ・ 9	第 1 2 回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
平成 4 年中		
1.	2 8	消防士長昇任学科試験
1.	2 9	消防司令補昇任学科試験
2.	2 0	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
3.	1 5	第 1 0 回消防職員意見発表会（巖原町）
3.	2 0	空港警備所ケミカル車（県所有）更新配置
4.	1	消防職員 1 名採用 消防司令 1 名、消防司令補 6 名、消防副士長 6 名昇任
6.	1	美津島町今里、鴨居瀬保育所幼年消防クラブ結成

- 6. 1 5 指令車購入（美津島出張所更新配置）
- 7. 2 3 長崎県消防長会消防署長会議開催
- 9. 1 2 平成4年度対馬地域救急医療研究会（対馬支庁別館）
- 9. 2 2 防火広報車受贈（日本防火協会より対馬少年婦人防火委員会へ）
- 10. 2 第10回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 1 5・1 6 第13回署所対抗駅伝大会（優勝 本署2分隊チーム）
- 10. 2 0・2 1 甲種防火管理者講習会（長崎県信漁連対馬支所）
- 10. 2 2 救助工作車購入（本署）

平成5年中

- 3. 1 上対馬町泉、比田勝、琴、一重保育所幼年消防クラブ結成
- 3. 1 0 第11回消防職員意見発表会（上対馬町）
- 4. 1 第七代次長兼第六代消防署長 柚谷 重徳 就任
消防職員3名採用（条例定数73人）
消防司令2名 昇任
消防本部及び消防署を3課（総務、予防、警防）に組織
血液輸送業務を廃止
- 5. 1 2 第34回長崎県総合防災訓練（豊玉町仁位浜埋立地）
- 7. 1 2 第七代消防長 松村 良幸 就任
- 7. 2 0 指令車購入（本署更新配置）
- 8. 1 1 第八代消防長 原田 保吉 就任
- 9. 1 1 平成5年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
- 9. 2 1 第11回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 1 9・2 0 甲種防火管理者講習会（本署）
- 10. 2 1 タンカー事故対策訓練（久田岸壁）
- 11. 2 5 美津島町雞知、大船越保育所幼年消防クラブ結成
- 11. 2 9・3 0 第14回署所対抗駅伝大会（優勝 美津島出張所チーム）

平成6年中

- 2. 2 消防副士長昇任学科試験
- 2. 3 消防司令補昇任学科試験
- 3. 3 消防司令補、消防副士長昇任術科試験
- 3. 2 2 第12回消防職員意見発表会（厳原町）
- 3. 2 5 救急車購入（本署更新配置）
- 3. 2 8 消防無線機更新（基地局、固定局、中継局、多重無線、全国波、救急波）
- 4. 1 消防職員4名採用（条例定数77人、実員75人）
消防司令補1名 消防副士長2名 昇任
- 4. 2 2 救急Ⅱ課程修了者6名院内研修（対馬いづはら病院）

5. 1 8	対馬空港ハイジャック対応訓練
5. 3 1	消防救助技術指導大会署内予選会（豊玉）
9. 1 0	平成6年度対馬地域救急医療研究会（上対馬総合センター）
10. 1 7・1 8	甲種防火管理者講習会（本署）
10. 2 0・2 1	甲種防火管理者講習会（上県町役場）
11. 7・8	第15回署所対抗駅伝大会（優勝 美津島出張所チーム）
11. 2 8	化学車Ⅱ型購入（本署更新配置）
平成7年中	
2. 2	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 3	消防司令補昇任学科試験
2. 2 7	第12回対馬空港合同消火救難訓練
3. 8	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
3. 9	第13回消防職員意見発表会（美津島町）
4. 1	消防職員2名採用（条例定数77人、実員77人） 消防司令補3名 消防士長8名 消防副士長4名 昇任 消防本部警防課に通信係を新設、警防係と合わせ2係制に 長崎県営対馬空港航空機事故対策要綱の一部改正 消防署警防課を通信第1係、通信第2係に組織 「空港警備所」を「空港出張所」に改称
4. 6	平成7年度長崎県消防長会春季総会開催（厳原町文化会館）
4. 7	第18回長崎県下消防職員意見発表会開催（親和銀行対馬支店）
5. 2 3	第1回署内消防救助技術指導大会（峰出張所）
9. 9	平成7年度対馬地域救急医療研究会（厳原町文化会館）
10. 1	消防本部予防課に危険物係を新設、予防係と2係制に 消防署予防課を予防係、危険物係に組織
10. 1 8・1 9	甲種防火管理者講習会（親和銀行対馬支店）
11. 2 1・2 2	第16回署所対抗駅伝大会（優勝 本署2分隊チーム）
12. 7	第13回対馬空港合同消火救難訓練
12. 1 4	化学車Ⅱ型購入（上県出張所更新配置）
平成8年中	
2. 1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 2	消防司令補昇任学科試験
3. 1	長崎県営対馬空港航空機事故対策要綱の一部改正
3. 8	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験 血液輸送車受贈（長崎赤十字血液センター）
3. 1 2	救急車購入（豊玉出張所更新配置）

- 3. 1 5 第 1 4 回消防職員意見発表会（峰町中央公民館）
- 3. 2 8 消防無線機新設（多重無線権現山～比田勝権現山間）
消防無線機新設（救急波 比田勝権現山）
- 3. 3 0 職員待機宿舍建設（4 戸建 豊玉出張所）
- 4. 1 消防司令補 5 名 消防士長 9 名 昇任
- 4. 2 5 救急救命士国家試験 1 名合格
- 5. 2 第 2 回署内消防救助技術指導大会（峰出張所）
- 7. 1 消防本部警防課に救急係新設、警防課 3 係制に組織
消防署警防課に救急係新設、警防課 3 係制に組織
- 9. 7 平成 8 年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
- 1 0. 1 対馬総町村組合消防本部消防職員委員会に関する規則制定
同規程制定
- 1 0. 2 1・2 2 甲種防火管理者講習会（親和銀行対馬支店）
- 1 2. 1 9・2 0 第 1 7 回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）

平成 9 年中

- 1. 2 7 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1. 2 8 消防司令補昇任学科試験
- 3. 1 0 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 3. 1 1 第 1 4 回対馬空港合同消火救難訓練
- 3. 1 8 第 1 5 回消防職員意見発表会（豊玉町）
- 4. 1 消防司令補 1 名 消防士長 7 名 消防副士長 1 名 昇任
- 4. 2 1 消防本部・消防署新築移転、業務開始（下県郡厳原町大字棧原 5 2 番地第 2）
- 4. 2 2 1 1 9 番新庁舎受付開始（厳原町、美津島町、豊玉町）
- 4. 2 3 1 1 9 番新庁舎受付開始（峰町、上県町、上対馬町）
- 4. 2 4 救急救命士国家試験 2 名合格
- 5. 1 第九代消防長 柚谷 重徳 就任（消防監）
第八代次長 古藤 精一 就任（消防司令長）
消防司令 2 名昇任
消防本部に通信指令課及び通信課通信係を新設し、消防本部を 4 課 6 係制に組織（消防署の通信係を削る）
- 5. 1 4 第 3 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 8. 1 9 消防大学校第 3 7 期救助課 1 名入校 1 0. 1 7 卒業
- 9. 6 平成 9 年度対馬地域救急医療研究会（上県町中央公民館）
- 1 0. 2 1・2 2 甲種防火管理者講習会（本署）
- 1 0. 2 4 救急救命士国家試験 1 名合格
- 1 1. 5・6 第 1 8 回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）

平成10年中

- 1. 2 7 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1. 2 8 消防司令補昇任学科試験
- 2. 2 3 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 3. 4 第15回対馬空港合同消火救難訓練
- 3. 1 1 第16回消防職員意見発表会（上県町）
- 4. 1 消防職員1名採用
消防司令補1名 昇任
- 5. 2 2 第4回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 9. 1 2 平成10年度対馬地域救急医療研究会（峰町開発総合センター）
- 10. 2 0 高度救急訓練用資器材購入（高研人形、除細動器、気道確保資機材、輸液セット）
- 10. 2 2・2 3 甲種防火管理者講習会（本署）
- 10. 2 3 救急救命士国家試験1名合格
- 12. 1・2 第19回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）

平成11年中

- 1. 2 0 高規格救急車購入（高度救命処置用資機材積載）（本署配置）
- 1. 2 7 救急車積載モニター購入（上対馬出張所配置）
消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1. 2 8 消防司令補昇任学科試験
- 2. 1 待機宿舎建設（4戸建 本署）
- 2. 2 5 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 2. 2 6 指令車購入（豊玉出張所更新配置）
- 3. 1 高規格救急車運用開始（本署）
- 3. 7 高規格救急車運用開始記念式典
- 3. 9 第16回対馬空港合同消火救難訓練
- 3. 1 0 第17回消防職員意見発表会（上対馬町）
- 4. 1 第七代消防署長 古藤 精一 就任
消防職員1名採用
消防司令補1名 消防士長4名 消防副士長4名 昇任
- 5. 1 1 第5回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 9. 4 平成11年度対馬地域救急医療研究会（豊玉町豊玉公会堂）
- 9. 2 7 指令車購入（上県出張所更新配置）
- 10. 6 消防大学校第28期幹部研修科1名入校 12. 1 7 卒業
- 10. 1 4・1 5 甲種防火管理者講習会（本署）
- 11. 1 0 救急救命士国家試験1名合格
- 11. 1 6・1 7 第20回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）

1 2. 2	第 1 7 回対馬空港合同消火救難訓練
平成 1 2 年中	
2. 1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 2	消防司令補昇任学科試験
2. 2 3	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
2. 2 8	C D - 1 型消防ポンプ車購入（本署更新配置）
3. 1 1	第 1 8 回消防職員意見発表会（美津島町）
4. 1	第十代消防長 古藤 精一 就任（消防監） 消防職員 1 名採用 消防司令補 6 名 消防士長 4 名 消防副士長 4 名 昇任
4. 2 7	九州地区消防職員意見発表会 1 名出場（大分市）
5. 1 0	長崎県消防長会予防担当課長会議開催（厳原町）
5. 1 6	第 6 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7. 1	消防司令 2 名昇任
9. 4	平成 1 2 年度対馬地域救急医療研究会（上対馬町上対馬総合センター）
1 0. 1	第九代次長 阿比留 仁志 就任（消防司令長） 第八代消防署長 吉田 有慶 就任（消防司令長）
1 1. 1 7 ・ 1 8	甲種防火管理者講習会（本署）
1 1. 1	長崎県消防長会予防事務研修会開催（厳原町） 救急救命士国家試験 1 名合格
1 1. 2 0 ・ 2 1	平成 1 2 年度消防職員マラソン大会
1 2. 1	平成 1 2 年度対馬空港合同消火救難訓練
平成 1 3 年中	
1. 2 9	消防副士長昇任学科試験
1. 3 0	消防司令補昇任学科試験
2. 2 0	第 1 9 回消防職員意見発表会（本署大会議室）
2. 2 6	消防司令補、消防副士長昇任術科試験
3. 8	C D - 1 型消防ポンプ自動車 2 台購入（豊玉、上県出張所更新配置）
4. 1	消防司令補 3 名 消防副士長 2 名 昇任
4. 1 9	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 5	第 7 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
4. 2 6	九州地区消防職員意見発表会 1 名出場（佐賀市）
5. 2 2	第 4 2 回長崎県総合防災訓練（美津島町「グリーンピアつしま」）
9. 8	平成 1 3 年度対馬地域救急医療研究会（厳原町文化会館）
1 0. 1 6 ・ 1 7	甲種防火管理者講習会（本署）
1 1. 1	救急救命士国家試験 2 名合格

1 1. 7	血液輸送車受贈（本署 長崎赤十字血液センター）
1 1. 2 0	平成 1 3 年度対馬空港合同消火救難訓練
1 2. 3・4	平成 1 3 年度消防職員マラソン大会
平成 1 4 年中	
1. 2 8	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 9	消防司令補昇任学科試験
2. 2 5	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験 高規格救急車購入（高度救命処置用資機材積載）（豊玉出張所配置）
3. 2 8	2 B 型救急車受贈（山之内製薬より）
4. 1	消防司令 2 名 消防司令補 6 名 消防士長 1 名 消防副士長 1 名 昇任
5. 1	第 8 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7. 1 1	長崎県消防長会総務担当課長会議開催（厳原町）
9. 7	平成 1 4 年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
1 1. 5	救急救命士国家試験 2 名合格
1 1. 1 8・1 9	平成 1 4 年度消防職員マラソン大会
1 1. 2 6	長崎県消防長会消防署長会議開催（厳原町）
1 2. 6	平成 1 4 年度対馬空港合同消火救難訓練
平成 1 5 年中	
1. 2 7	消防副士長昇任学科試験
1. 2 8	消防司令補昇任学科試験 高規格救急車購入（上県出張所配置）
2. 2 6	消防司令補、消防副士長昇任術科試験
3. 1 6	C D－1 型消防ポンプ車購入（上対馬出張所更新配置）
3. 2 2	消防職員採用第 1 次試験
3. 2 3	消防職員採用第 2 次試験
3. 2 4	対馬地域メディカルコントロール協議会発足
3. 2 8	消防職員採用第 3 次試験
4. 1	消防職員 1 名採用 消防司令補 1 名 消防副士長 1 名 昇任
5. 1 2	第 9 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1 3	平成 1 5 年度対馬地域救急医療研究会（上対馬総合センター）
1 0. 5	消防大学校第 7 4 期予防科 1 名入校 1 2. 1 3 卒業
1 1. 4・5	平成 1 5 年度職員マラソン大会
1 1. 6	救急救命士国家試験 2 名合格
1 1. 2 7	C D－1 型消防ポンプ車購入（美津島、峰出張所更新配置）

平成16年中

- 2. 2 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 2. 3 消防司令補昇任学科試験
- 2. 2 9 対馬総町村組合解散
- 3. 1 対馬市誕生（6町合併）
対馬市消防本部、対馬市消防署に改称
（条例定数80人に）
消防団事務、ヘリコプターによる急患搬送事務が消防本部の分掌事務に
- 3. 2 4 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 4. 1 第十一代消防長 阿比留 仁志 就任（消防監）
消防司令補2名 消防士長3名 消防副士長1名 昇任
- 5. 1 第十代次長 阿比留 健 就任（消防司令長）
- 5. 7 第10回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 7. 2 9 長崎県消防長会通信担当課長会議開催（厳原町）
- 9. 1 1 平成16年度対馬地域救急医療研究会（対馬支庁）
- 10. 2 消防大学校第38期幹部研修科1名入校 12. 10卒業
救急救命士国家試験2名合格
- 11. 4 美津島町婦人防火クラブ結成
- 11. 2 9・30 平成16年度消防職員マラソン大会

平成17年中

- 1. 3 1 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 2. 1 消防司令補昇任学科試験
- 3. 7 高規格救急車購入 運用開始（峰出張所配置）
- 3. 1 2 消防司令補、消防士長昇任術科試験
- 3. 2 3 救急救命士の気管挿管実習に関する業務委託契約書他2契約締結
- 4. 1 消防司令補1名 消防士長2名 昇任
- 4. 2 5 第11回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 6. 4 第58回長崎県消防団大会（美津島町）
- 9. 1 7 平成17年度対馬地域救急医療研究会（美津島文化会館）
- 11. 2 救急救命士国家試験2名合格
- 11. 1 7・18 平成17年度消防職員マラソン大会
- 12. 7 対馬空港合同消火救難訓練

平成18年中

- 1. 3 0 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1. 3 1 消防司令補昇任学科試験
- 1. 2 7 気管挿管認定救命士誕生 運用開始

3.	3	本署タンク車購入（本署更新配置）
3.	14	消防司令補、消防士長昇任術科試験
4.	1	消防職員3名採用
		消防司令1名 消防司令補2名 消防士長1名 昇任
11.	27	第12回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
11.	20・21	平成18年度消防職員マラソン大会
平成19年中		
2.	5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2.	6	消防司令補昇任学科試験
4.	1	消防職員3名採用
		第九代消防署長 永留 正司 就任（消防司令）
		救急救命士が行う特定行為に係る指示に関する委託契約締結
4.	20	救急救命士国家試験1名合格
4.	23	第13回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
11.	14	高規格救急車購入（美津島出張所配置）
11.	27・28	平成19年度消防職員マラソン大会
平成20年中		
1.	22	消防大学校第9期幹部科1名入校 3.7卒業
1.	28	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1.	29	消防司令補昇任学科試験
2.	16	消防司令補、消防士長昇任術科試験
2.	26	第20回消防職員意見発表会（厳原町）
4.	1	消防職員5名採用
		消防司令補1名 消防士長1名 昇任
4.	10	救急救命士国家試験1名合格
11.	24	第14回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
11.	1	第十二代消防長 阿比留 健 就任（消防司令長）
11.	27・28	平成20年度消防職員マラソン大会
平成21年中		
1.	26	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1.	27	消防司令補昇任学科試験
2.	14	消防司令補、消防士長昇任術科試験
2.	20	第21回消防職員意見発表会（厳原町）
4.	1	消防職員5名採用
		第十一代次長 竹中 英文 就任（消防司令）
		第十代消防署長 原 昇一 就任（消防司令）

	消防司令補 1 名 消防士長 1 名 昇任
4. 1 4	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 3	第 1 5 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 2 6	消防大学校第 8 6 期警防科 1 名入校 卒業 1 2. 1 8
1 1. 2 6・2 7	平成 2 1 年度消防職員マラソン大会
平成 2 2 年中	
1. 2 8	第 2 2 回消防職員意見発表会（厳原町）
2. 1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 2	消防司令補昇任学科試験
4. 1	消防職員 6 名採用
	第十三代消防長 竹中 英文 就任（消防司令長）
	長崎県消防学校 教官 1 名派遣
4. 1 4	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 6	第 1 6 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1	第十二代消防次長 原 昇一 就任（消防司令）
1 1. 1・2	平成 2 2 年度消防職員署所対抗駅伝大会
1 1. 2 5	本署救助工作車Ⅱ型購入（本署更新配置）
平成 2 3 年中	
1. 2 4	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 5	消防司令補昇任学科試験
2. 1	第 2 3 回消防職員意見発表会（厳原町）
2. 1 6	消防士長・消防副士長昇任術科試験
3. 1 4	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊 隊員 3 名派遣 3. 2 4 帰署
3. 2 8	消防署上県出張所新築移転 業務開始 （対馬市上県町佐須奈甲 639 番地 5）
	消防署豊玉・峰・上対馬出張所増改築工事
4. 1	消防職員 6 名採用
	消防司令 2 名 消防士長 2 名 消防副士長 1 名 昇任
1 0. 1 7	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 8	消防司令補昇任学科試験
1 1. 7	消防副士長昇任術科試験
1 1. 2 1. 2 4	平成 2 3 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 4 年中	
4. 1	消防職員 2 名採用
	消防副士長 1 名 昇任
	長崎県防災航空隊 隊員 1 名派遣

4. 1 0	救急救命士国家試験 2 名合格
4. 2 6	第 1 7 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 9	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 0	消防司令補昇任学科試験
1 0. 2 8	消防大学校第 3 1 期幹部科 1 名入校 1 2. 1 3 卒業
1 1. 5. 6	平成 2 4 年度消防職員署所対抗駅伝大会
1 1. 7	消防司令補、副士長昇任術科試験
平成 2 5 年中	
4. 1	第十一代消防署長 永留 弘和 就任（消防司令） 消防職員 4 名採用 消防副士長 4 名 昇任
4. 8	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 5	第 1 8 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 1 5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 6	消防司令補昇任学科試験
1 1. 7	消防副士長昇任術科試験
1 1. 5・6	平成 2 5 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 6 年中	
1. 1 5	消防大学校第 7 7 期上級幹部科 1 名入校 1. 3 1 卒業
2. 7	第 2 4 回消防職員意見発表会（本署）
3. 3 1	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 1	対馬市消防署 豆酛分遣所 開所 消防職員 9 名採用 消防司令 1 名、消防副士長 3 名 昇任（条例定数 1 0 6 名に）
4. 2 4	第 1 9 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1	第十二代消防署長 中山 秀尚 就任（消防司令）
1 0. 1	消防職員 2 名採用
1 0. 1 5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 6	消防司令補昇任学科試験
1 1. 6	消防司令補・消防副士長昇任術科試験
1 1. 5・6	平成 2 6 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 7 年中	
2. 1 3	第 2 5 回消防職員意見発表会（本署）
3. 2 0	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線運用開始
3. 3 1	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 1	消防職員 4 名採用

	消防副士長 5 名 昇任
4. 27・28	第 20 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
10. 14	消防士長、消防副士長昇任学科試験
10. 15	消防司令補昇任学科試験
10. 28・29	平成 27 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 28 年中	
2. 12	第 26 回消防職員意見発表会（本署）
3. 31	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 1	消防職員 13 名採用
	第十四代消防長 永留弘和 就任（消防司令長）
	消防司令 2 名、消防司令補 2 名、消防士長 1 名、消防副士長 7 名 昇任
4. 14	平成 28 年熊本地震に伴う緊急消防援助隊派遣 隊員 12 名 4. 25 帰署
4. 25	第 21 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
8. 2	消防士長、消防副士長昇任学科試験
8. 3	消防司令補昇任学科試験
8. 22	消防大学校第 100 期予防科 1 名入校 10. 13 卒業
10. 1	消防職員 1 名採用
10. 25・26	平成 28 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 29 年中	
2. 6	第 27 回消防職員意見発表会（本署）
3. 27	高規格救急車購入（美津島救急車 更新）
3. 31	救急救命士国家試験 2 名合格
4. 1	第十三代消防次長 中山秀尚 就任（消防司令）
	消防職員 8 名採用
	長崎県防災航空隊 隊員 1 名派遣
	消防司令 1 名、消防司令補 2 名、消防士長 1 名、消防副士長 4 名 昇任
4. 26	第 22 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7. 6	平成 29 年 7 月九州北部豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣
	隊員 15 名 7. 21 帰署
8. 22	消防大学校第 50 期幹部科 1 名入校 卒業 10. 6
10. 1	第十三代消防署長 糸瀬 一生 就任（消防司令）
10. 26・27	平成 29 年度消防職員署所対抗駅伝大会
10. 11	消防士長、消防副士長昇任学科試験
10. 12	消防司令補昇任学科試験
平成 30 年中	
2. 6	第 28 回消防職員意見発表会（本署）

3. 1 9	広報車購入（北部支署広報車更新）
3. 3 0	救急救命士国家試験 2 名合格
4. 1	第十五代消防長 主藤 庄司 就任（消防司令長） 第十四代消防次長 糸瀬 一生 就任（消防司令） 第十四代消防署長 修行 武智 就任（消防司令） 消防職員 7 名採用 消防司令 4 名、消防司令補 3 名、消防士長 4 名、消防副士長 5 名 昇任
4. 1 9	巖原町豆酲地区婦人防火クラブ解散
5. 8	第 2 3 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 1 0	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 1	消防司令補昇任学科試験
1 0. 3 0. 3 1	平成 3 0 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 3 1 年中（令和元年中）	
2. 6	第 2 9 回消防職員意見発表会（本署）
2. 2 8	ブーム付多目的消防ポンプ自動車購入・運用開始
3. 2 9	救急救命士国家試験 2 名合格
4. 1	消防職員 6 名採用 消防司令 3 名、消防司令補 2 名、消防士長 4 名、消防副士長 8 名 昇任
4. 2 2	第 2 4 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 1 0	消防吏員昇任（一次）試験（消防士長、消防副士長）
1 0. 1 1	消防吏員昇任（一次）試験（消防司令補）
1 0. 3 1	
～ 1 1. 1	令和元年度消防職員署所対抗駅伝大会
1 1. 1 9	消防吏員昇任（二次）試験（消防司令補、消防士長、消防副士長）
令和 2 年中	
2. 5	第 3 0 回消防職員意見発表会
3. 1 2	高規格救急車購入（消防署北部支署上対馬出張所配備） （4. 1 運用開始）
3. 3 1	救急救命士国家試験 2 名合格
4. 1	消防職員 6 名採用 第十五代消防次長 井 浩 就任（消防司令） 消防司令補 1 名、消防士長 4 名、消防副士長 1 名
1 0. 1 3	消防吏員昇任（一次）試験（消防士長、消防副士長）
1 0. 1 4	消防吏員昇任（一次）試験（消防司令補）
1 0. 3 0	高規格救急車購入（峰出張所配備）（1 0. 3 0 運用開始）
1 1. 2 5	消防吏員昇任（二次）試験（消防士長、消防副士長、消防司令補）

令和3年中

- 2. 9 第31回消防職員意見発表会
- 3. 12 化学付き消防ポンプ自動車購入（消防署北部支署配備）
（3. 18運用開始）
- 3. 31 救急救命士国家試験2名合格
- 4. 1 消防職員6名採用
第十五代消防署長 佐護 安生 就任（消防司令）
消防司令補1名、消防士長9名、消防副士長7名 昇任
- 4. 8 消防ポンプ自動車購入（対馬市消防署配備）
（4. 9運用開始）
- 10. 13 消防吏員昇任（一次）試験（消防士長、消防副士長）
- 10. 14 消防吏員昇任（一次）試験（消防司令補）
- 11. 25 消防吏員昇任（二次）試験（消防司令補、消防士長、消防副士長）

令和4年中

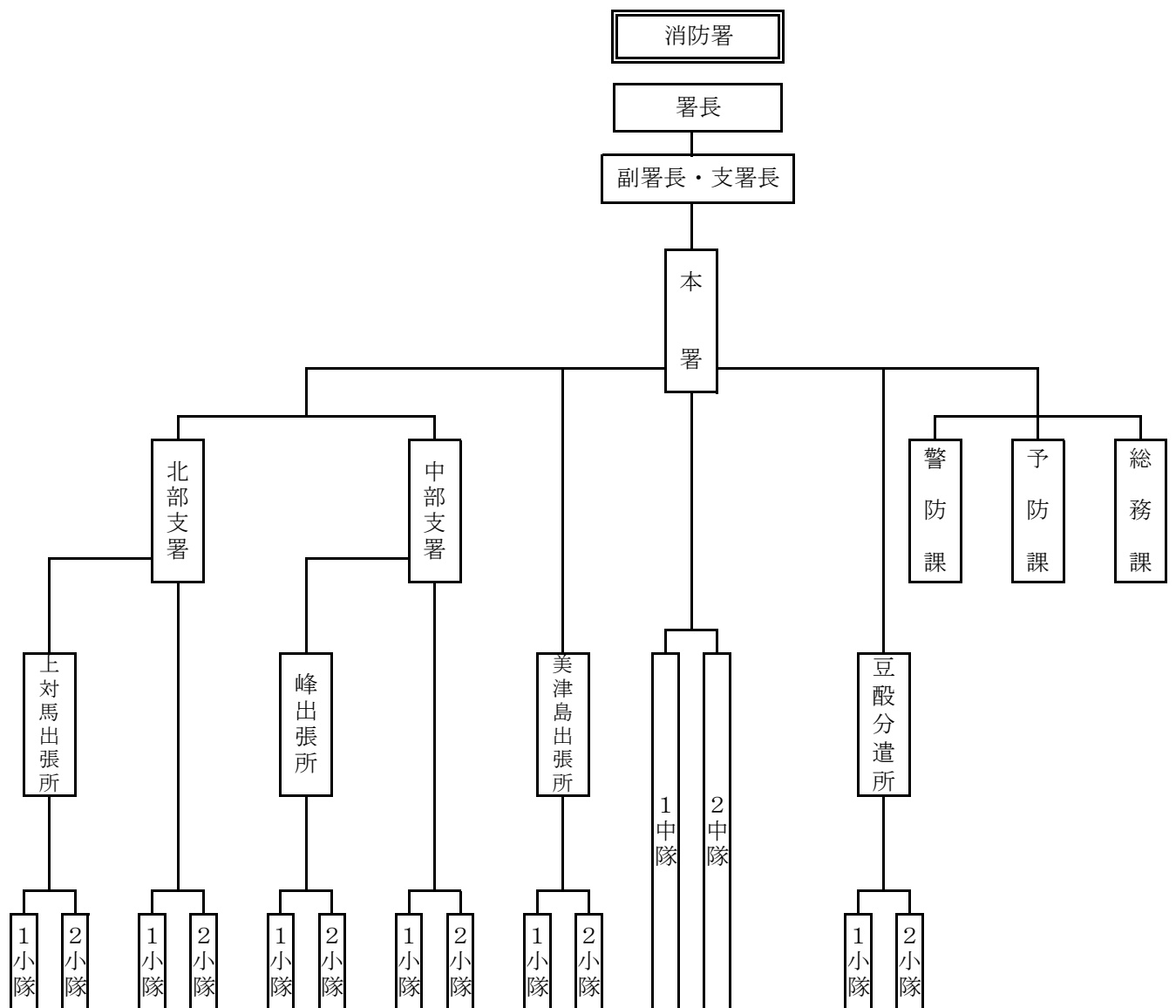
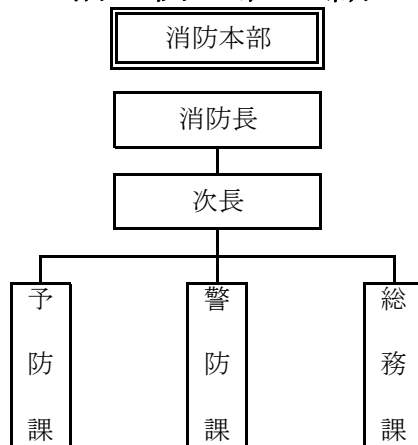
- 2. 8 第32回消防職員意見発表会
- 2. 21 消防署北部支署上対馬出張所新築移転 業務開始
- 3. 24 消防ポンプ自動車購入（消防署中部支署配備）
（3. 26運用開始）
- 3. 31 救急救命士国家試験2名合格
- 4. 1 消防職員3名採用
第十六代消防署長 津江 正雄 就任（消防司令）
消防司令2名、消防司令補1名、消防士長3名、消防副士長11名 昇任

総務



対馬市消防署 北部支署 上対馬出張所 移転 R4.2.21 運用開始

消 防 組 織



事 務 分 掌

〔消防本部〕

1 総 務 課

- (1) 消防業務に関する総合的企画立案に関する事。
- (2) 組織及び人事に関する事。
- (3) 消防職員の教養、研修及び福利厚生に関する事。
- (4) 儀式及び表彰に関する事。
- (5) 予算及び経理に関する事。
- (6) 公印の保管に関する事。
- (7) 文書及び物件の收受並びに発送に関する事。
- (8) 例規等の制定及び改廃に関する事。
- (9) 消防の統計及び広報に関する事。
- (10) 消防の沿革記録に関する事。
- (11) 消防職員委員会に関する事。
- (12) 急患ヘリに関する事。
- (13) 庁舎の維持管理、備品の收受及び保管に関する事。
- (14) 職員の給料に関する事。
- (15) 給与、貸与品に関する事。
- (16) 消防応援協定に関する事。
- (17) 消防団の組織に関する事。
- (18) 消防団員の人事、研修及び福利厚生に関する事。
- (19) 消防団の儀式及び表彰に関する事。
- (20) 消防団員等の公務災害補償に関する事。
- (21) 消防団の施設等の維持管理に関する事。
- (22) その他消防団事務に関する事。
- (23) 事務処理の調整に関する事。
- (24) 他課の所管に属さない事。

2 警 防 課

- (1) 警防業務、救助業務及び救急業務に係る企画立案に関する事。
- (2) 火災その他の災害の予防警戒に関する事。
- (3) 救急及び救助に関する事。
- (4) 消防水利に関する事。

- (5) 消防技術の研究及び指導に関すること。
- (6) 消防機械器具及び救助資機材の管理運用に関すること。
- (7) 自主防災組織及び自衛消防隊の指導育成に関すること。
- (8) 消防団員の訓練指導及び消防団との連絡調整に関すること。
- (9) 救急資機材の管理に関すること。
- (10) 救急活動の記録に関すること。
- (11) 救急隊員の指導及び訓練に関すること。
- (12) 応急手当等の普及啓発及び講習に関すること。
- (13) 救急相談及び救急指導に関すること。
- (14) 医療機関等との連絡調整に関すること。
- (15) メディカルコントロール協議会に関すること。
- (16) 警防統計、救急統計及び救助統計に関すること。
- (17) その他警防事務に関すること。

3 通 信 課

- (1) 消防通信の運用及び通信統制に関すること。
- (2) 火災等の災害受信及び出動指令並びに非常招集に関すること。
- (3) 消防通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 気象観測及び気象情報に関すること。
- (5) 火災警報の広報に関すること。
- (6) 災害関係情報の収集及び伝達に関すること。
- (7) 消防緊急情報システムの企画及び運営管理に関すること。
- (8) その他通信事務に関すること。

4 予 防 課

- (1) 予防業務の企画立案に関すること。
- (2) 建築物許可等の同意事務に関すること。
- (3) 防火管理者の講習及び指導育成に関すること。
- (4) 防災物品の規制に関すること。
- (5) 消防用設備等の着工、設置、検査及び指導に関すること。
- (6) 予防査察、違反対象物の是正及び告発等に関すること。
- (7) 火災の原因調査に関すること。
- (8) たき火又は喫煙の制限区域の指定に関すること。
- (9) 火災警報の発令及び解除に関すること。
- (10) 防火委員会に関すること。

- (11) 幼年消防、少年消防及び婦人防火クラブの指導育成に関すること。
- (12) 消防用設備等の法令適合証明に関すること。
- (13) 消防用設備等の点検報告等の届出に関すること。
- (14) 消防設備士の指導育成に関すること。
- (15) 火災、予防統計及び報告に関すること。
- (16) 予防関係各種届出に関すること。
- (17) 火災報告に関すること。
- (18) り災証明等に関すること。
- (19) その他火災予防事務に関すること。
- (20) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。
- (21) 危険物製造所等の設置、変更許可及び完成検査に関すること。
- (22) 予防規程の認可に関すること。
- (23) 危険物製造所等の点検に関すること。
- (24) 危険物保安統括管理者、危険物保安監督者及び危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (25) 指定可燃物及び指定数量未満の危険物等の火災予防措置に関すること。
- (26) 高圧ガス、火薬類、毒劇物等の火災予防措置に関すること。
- (27) 液化石油ガスの設備工事に関すること。
- (28) 危険物施設等の違反処理に関すること。
- (29) 危険物統計に関すること。
- (30) その他危険物事務に関すること。

〔消防署〕

1 総 務 班

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 例規等文書の発送、收受及び処理並びに保管に関すること。
- (3) 職員の教養及び研修派遣に関すること。
- (4) 消防統計及び広報に関すること。
- (5) 休暇等に関すること。
- (6) 事務処理の調整に関すること。
- (7) 消防団及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (8) 消防表彰に関すること。
- (9) 消防施設等の維持管理、備品の保管に関すること。
- (10) 職員の福利厚生に関すること。
- (11) 他の班の所管に属さない事項。

2 警 防 救 助 班

- (1) 消防相互応援協定に関すること。
- (2) 火災その他災害の予防警戒に関すること。
- (3) 消防地理、水利に関すること。
- (4) 警防計画及び訓練に関すること。
- (5) 消防機器及び救助資機材の管理運用に関すること。
- (6) 自主防災組織及び自衛消防隊の指導育成に関すること。
- (7) 警防統計に関すること。
- (8) 警防救助活動の記録に関すること。
- (9) 消防隊員及び救助隊員の訓練に関すること。
- (10) 一般住宅、乾燥施設及び独居老人等の防火指導に関すること。
- (11) 消防団の訓練指導に関すること。
- (12) 消防隊及び救助隊の運用に関すること。
- (13) その他警防救助事務に関すること。

3 救 急 班

- (1) 救急資機材の管理に関すること。
- (2) 救急隊の指導及び訓練に関すること。
- (3) 救急隊の運用に関すること。
- (4) 救急活動の記録に関すること。
- (5) 応急手当等の普及啓発に関すること。
- (6) その他救急事務に関すること。

4 通 信 班

- (1) 消防広報に関すること。
- (2) 災害地点調査及び情報入力に関すること。
- (3) 気象及び災害等の情報並びに救急及び救助の情報に関すること。
- (4) 非常招集の運用に関すること。
- (5) 火災等の災害、救急及び救助事故の受信に関すること。
- (6) その他指令管制及び通信事務に関すること。

5 予 防 班

- (1) 防火防災管理者の指導育成に関すること。
- (2) 消防用設備等の指導に関すること。
- (3) 立入検査、違反対象物の是正及び告発等に関すること。
- (4) 火災の調査に関すること。
- (5) 幼年消防、少年消防及び婦人防火クラブの指導育成に関すること。

- (6) 予防広報に関すること。
- (7) 火災、その他災害の予防に関すること。
- (8) 消防設備士の指導育成に関すること。
- (9) 火災、予防統計及び報告に関すること。
- (10) 消防用設備等の点検報告等及び防火対象物定期点検報告の届出に関すること。
- (11) 予防関係各種届出に関すること。
- (12) り災証明等に関すること。
- (13) その他予防事務に関すること。

6 危 険 物 班

- (1) 危険物製造所等の指導及び予防査察に関すること。
- (2) 危険物製造所等の立入検査・違反施設の是正及び違反処理等に関すること。
- (3) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (4) 指定数量未満の危険物及び指定可燃物等の火災予防措置に関すること。
- (5) 毒物及び劇物等の火災予防措置に関すること。
- (6) 危険物安全協会の事務処理に関すること。
- (7) 危険物統計に関すること。
- (8) その他危険物事務に関すること。

歴代消防長等

(令和4年4月1日現在)

	消 防 長		次 長	
	氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
初 代	酒 井 豊	S49.4.1～S50.3.31 1年	小 島 毅 夫	S49.4.1～S49.10.6 6ヶ月
二 代	前 間 重 幸	S50.6.14～S54.3.31 3年9ヶ月	松 原 隆 夫	S49.10.25～S52.3.31 2年5ヶ月
三 代	梅 野 貞 省	S54.7.5～S56.8.23 2年1ヶ月	根 夨 勝 男	S52.4.1～S60.3.31 8年
四 代	長 郷 哲 夫	S56.8.24～S60.3.31 3年8ヶ月	川 上 眞 澄	S60.4.1～H元.3.31 4年
五 代	根 夨 勝 男	S60.4.1～H3.1.7 5年10ヶ月	小 西 清 明	H元.4.1～H3.3.31 2年
六 代	安 藤 茂 喜	H3.4.1～H5.7.11 2年3ヶ月	小 田 幹 雄	H3.4.1～H5.3.31 2年
七 代	松 村 良 幸	H5.7.12～H5.8.10 1ヶ月	柚 谷 重 徳	H5.4.1～H9.4.30 4年1ヶ月
八 代	原 田 保 吉	H5.8.11～H9.4.30 3年9ヶ月	古 藤 精 一	H9.5.1～H12.3.31 2年11ヶ月
九 代	柚 谷 重 徳	H9.5.1～H12.3.31 2年11ヶ月	阿 比 留 仁 志	H12.10.1～H16.3.31 3年4ヶ月
十 代	古 藤 精 一	H12.4.1～H16.3.31 4年	阿 比 留 健	H16.5.1～H20.10.31 4年6ヶ月
十 一 代	阿 比 留 仁 志	H16.4.1～H20.10.31 4年7ヶ月	竹 中 英 文	H21.4.1～H22.3.31 1年
十 二 代	阿 比 留 健	H20.11.1～H22.3.31 1年5ヶ月	原 昇 一	H22.9.1～H28.3.31 5年6ヶ月
十 三 代	竹 中 英 文	H22.4.1～H28.3.31 6年	中 山 秀 尚	H29.4.1～H30.3.31 1年
十 四 代	永 留 弘 和	H28.4.1～H30.3.31 2年	糸 瀬 一 生	H30.4.1～R2.3.31 1年
十 五 代	主 藤 庄 司	H30.4.1～ 就任	井 浩	R2.4.1～ 就任

歴代消防署長

(令和4年4月1日現在)

	消防署長	
	氏 名	在職期間
初 代	苑 田 幸 人	S49.1.1～S51.10.31 2年10ヶ月
二 代	湊 俊 郎	S51.11.1～S57.3.31 5年5ヶ月
三 代	川 上 眞 澄	S57.4.1～S63.3.31 6年
四 代	小 西 清 明	S63.4.1～H3.3.31 3年
五 代	小 田 幹 雄	H3.4.1～H5.3.31 2年
六 代	柚 谷 重 徳	H5.4.1～H11.3.31 6年
七 代	古 藤 精 一	H11.4.1～H12.9.30 1年6ヶ月
八 代	吉 田 有 慶	H12.10.1～H19.3.31 6年6ヶ月
九 代	永 留 正 司	H19.4.1～H21.3.31 2年
十 代	原 昇 一	H21.4.1～H25.3.31 4年
十 一 代	永 留 弘 和	H25.4.1～H26.8.31 1年5ヶ月
十 二 代	中 山 秀 尚	H26.9.1～H29.9.30 3年1ヶ月
十 三 代	糸 瀬 一 生	H29.10.1～H30.3.31 6ヶ月
十 四 代	修 行 武 智	H30.4.1～R3.3.31 3年
十 五 代	佐 護 安 生	R3.4.1～R4.3.31 1年
十 六 代	津 江 正 雄	R4.4.1～ 就任

消防相互応援協定等

昭和51年4月1日 (以下実施日)	長崎県広域消防相互応援協定	長崎県各消防局・本部
令和3年4月1日	長崎県営対馬空港消防協定	長崎県知事
昭和57年9月14日	対馬海上保安部との業務協定	対馬海上保安部長

消防予算・決算状況

(単位：千円)

項 目 節		2 年 度 予 算	3 年 度 予 算	4 年 度 予 算
消 防 費		1,059,897	1,143,877	1,395,220
常 備	消 防 費	683,293	667,403	663,460
	給 料	304,541	292,912	292,857
	職 員 手 当 等	201,565	198,333	188,091
	共 済 費	101,177	95,886	98,085
	賃 金	0	0	0
	報 償 費	806	806	806
	旅 費	8,131	8,412	8,418
	需 用 費	28,691	27,244	30,712
	役 務 費	10,493	13,795	11,385
	委 託 費	10,359	10,429	12,139
	使 用 料 ・ 賃 借 料	4,173	4,141	3,925
	備 品 購 入 費	2,402	2,699	4,296
	負 担 金 ・ 交 付 金	9,962	11,926	11,603
	補 償 補 填 ・ 賠 償 金	0	0	0
	公 課 費	993	820	1,143
非 常	備 消 防 費	139,745	137,956	155,137
	報 酬	42,531	41,853	74,601
	賃 金	0	0	0
	報 償 費	224	224	224
	旅 費	7,180	7,180	1,371
	需 用 費	16,259	16,531	25,464
	役 務 費	8,092	7,773	9,410
	委 託 料	46	46	775
	使 用 料 ・ 賃 借 料	566	616	3,410
	原 材 料 費	300	300	300
	備 品 購 入 費	423	0	230
	負 担 金 ・ 交 付 金	61,953	61,638	37,667
	補 償 ・ 補 填 ・ 賠 償 金	0	0	0
	償 還 金 ・ 利 子 及 び 割 引 料	0	0	0
	公 課 費	2,171	1,795	1,685
消 防	施 設 費	204,166	316,157	507,514
	需 用 費	3,675	3,787	3,000
	役 務 費	66	138	80
	委 託 料	9,471	71,536	21,950
	使 用 料 ・ 賃 借 料	0	0	0
	工 事 請 負 費	54,540	93,901	369,750
	公 有 財 産 購 入 費	0	0	0
	補 償 ・ 補 填 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	122,822	135,445	107,346
	負 担 ・ 補 助 ・ 交 付 金	13,500	11,067	5,214
	公 課 費	92	283	174
防 災 対 策 費		32,693	22,361	69,109
水 防 費		0	0	0

職員の採用・退職状況

(令和4年4月1日現在)

年度 区分	計	49 ～ 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4
採用	195	97		1			3	3	6	5	6	6	2	4	11	4	13	9	7	6	6	6	3
退職	108	20		1	1	1		4	10	2	2	1	2	3	7	13	2	13	8	4	7	7	
条 例 数			77	77	80	80	80	83	83	83	83	83	83	83	106	106	106	106	106	106	106	106	106
現在員		77	77	77	76	75	78	77	73	76	80	85	85	86	90	81	92	88	87	89	88	87	90

※再任用含まず、現在員にあっては31年度以前まで3月31日現在

職員の階級別配置状況

(令和4年4月1日現在)

所属 階級		計	消 防 吏 員						消防吏員 (再任用)
			司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	3		(1)				3	
	予 防 課	1		1					
	警 防 課	0		(1)					
消 防 署	署 長	1		1					
	副 署 長	1		1					
	本 署	23			4	5	5	9	1
	豆 岐 分 遣 所	9				4	3	2	1
	県 派 遣	2			1	1			
	美津島出張所	9			2	2	2	3	
	中 部 支 署	10		1		3	5	1	
	峰 出 張 所	9			1	3	4	1	1
	北 部 支 署	10		1	1	2	2	4	
	上対馬出張所	10			1	2	6	1	
実 員 合 計		90	1	6	10	22	27	24	3
%		100%	1.1%	6.4%	11.7%	23.4%	21.3%	36.2%	

職員の階級別年齢状況

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	合計	消 防 吏 員						消防吏員 (再任用)
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
18 歳	3						3	
19 //	4						4	
20 //	4						4	
21 //	7						7	
22 //								
23 //	4					4		
24 //	7					6	1	
25 //	4					1	3	
26 //	5					4	1	
27 //	4					3	1	
28 //	4					4		
29 //	3				3			
30 //	4				3	1		
31 //	3				2	1		
32 //	1				1			
33 //	4				1	3		
34 //	6			1	5			
35 //								
36 //	2				2			
37 //								
38 //								
39 //	1			1				
40 //								
41 //								
42 //	1			1				
43 //	1				1			
44 //								
45 //	2			2				
46 //	3			1	2			
47 //	1		1					
48 //	2			2				
49 //	3		1	1	1			
50 //	1		1					
51 //	1				1			
52 //	1			1				
53 //								
54 //	1		1					
55 //								
56 //								
57 //	2		2					
58 //	1	1						
59 //								
60 //								
61 //								1
62 //								2
計	90	1	6	10	22	27	24	3
平均年齢	39.7	58.0	52.3	44.8	35.5	26.6	21.2	61.7

職員の階級別勤続年数状況

(令和4年4月1日現在)

階級 勤務年数	合 計	消 防 吏 員						消防吏員 (再任用)
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
1年未満	3						3	
1 年	5						5	
2 "	6						6	
3 "	5						5	
4 "	5						5	
5 "	9					9		
6 "	11					11		
7 "	2				1	1		
8 "	3				1	2		
9 "	3					3		
10 "	1				1			
11 "	3				3			
12 "	4				4			
13 "	4				3	1		
14 "	2				2			
15 "	2			1	1			
16 "	3			1	2			
17 "								
18 "								
19 "								
20 "								
21 "								
22 "								
23 "	1			1				
24 "								
25 "								
26 "								
27 "	2			2				
28 "	4			2	2			
29 "	3		2	1				
30 "	1				1			
31 "	2			1	1			
32 "	3		2	1				
33 "								
34 "								
35 "								
36 "								
37 "								
38 "								
39 "	2		2					
40 "	1	1						
41 "								
42 "								
43 "								
44 "								1
45 "								2
計	90	1	6	10	22	27	24	3
平均年数	20.7	40.0	33.3	26.8	15.3	6.4	2.2	44.7

職員の研修等の状況

(令和4年4月1日現在)

区分	人員 種別年度		研 修 人 員														
			49~21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	計	
消防大学校	上 級 幹 部 科						1									1	
	幹 部 科		5			1					1					7	
	幹 部 研 修 科		3													3	
	予 防 科		3							1				1		5	
	危 険 物 科		1													1	
	警 防 科		2												1	3	
	救 急 科		1													1	
	救 助 科		1													1	
県消防学校	初 任 科		119	6	6	2	4	9	5	12	8	7	6	6	5	195	
	中 級 幹 部 研 修		1													1	
	初 級 幹 部 科		20		1								2	1	2	26	
	現 任 科		7													7	
	救急Ⅰ課程（旧救急科）		70													70	
	救 急 Ⅱ 課 程		65													65	
	救 急 科		20	6	4	1	4	7	4	13	7	3	5	7	5	86	
	救 命 士 追 加 講 習		10		1	1			3	5	2	2				24	
	予 防	予 防 科	33														33
		査 察 科	7												1		8
		危 険 物 科	21													1	22
		原 因 調 査 科	27	1	1		1		1		1		1		1		34
	警 防	救 助 科	34			1				1		1		1			38
		特 殊 災 害 課 程														1	
		操 法 指 導 員 科	17	2		2		2		2		2		2	2	2	31
研 修	救 急 隊 員 研 修		19	1	1	1			1	1	1	1	1	1		28	
	指 導 救 命 士							1		1	1		1			4	
	救急救命九州研修所		22	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2		41
計			508	17	15	10	10	21	15	38	23	18	18	21	21	735	

職員の免許・資格等取得状況

(令和4年4月1日現在)

種別		階級	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	専門員	計
自動車	大型自動車			3	5	12	7	1	1	29
	中型自動車				1	7	20	2		30
	中型自動車 (8t限定)			2	4	3	2		2	13
	準中型自動車									0
	準中型自動車 (5t限定)						1	1		2
	普通自動車		1	1				18		20
特殊 無線技士	陸 特 1									0
	陸 特 2		1	6	9	12	4		3	35
	陸 特 3				1	10	25	21		57
	海 特 2						1		1	2
	アマチュア無線			4	2					6
救 急	救 急 科			6	10	22	29	21		88
	救 急 救 命 士			2	6	12		3		23
	資格者	気管挿管 認定		1	4	2				7
		薬剤投与 認定 (アドレナリン)		2	6	12	2	3		25
		薬剤投与 認定 (輸液・ブ ト、ウ糖)		2	6	12	2	3		25
		指導救命 士		1	2					3
	応 急 手 当 指 導 員 講 習			6	10	22	30	17	3	88
予防技術 資格者	防火査察専門員		1	2		4	3			10
	消防用設備等 専門員		1	2	1	3	2			9
	危険物専門員			1		4	1			6
救 助 資格者	小型移動式 クレーン技能			2	6	15	3			26
	玉 掛 け 技 能			2	6	15	3			26
	ガス溶接技能					12	5			17
	フルハーネス技能					7	1			8
	伐木技能				1	1	5			7

予 防



屋内消火栓放水圧力確認状況

防火対象物現状表 1 5 0 m²以上

(令和3年中)

令別表第一区分			署所別	計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
合 計				1,492	549	30	253	183	174	92	211
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場									
	ロ	公会堂又は集会場		2				1			1
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ・その他これらに類するもの									
	ロ	遊技場又はダンスホール		7	3		2	1			1
	ハ	風俗営業等を営む店舗									
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において利用させる業務を営む店舗		1			1				
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの		2	2						
	ロ	飲食店		22	12	1	1	4			4
4		百貨店・マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場		36	13		10	2	5	1	5
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所		81	29	1	30	2	6	4	9
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅		189	128		20	10	1	10	20
6	イ	(1)	病院のうち、診療科名中に特定診療科名を有し、かつ、医療法第7条第2項第4号に規定する療養病床または同項第5号に規定する一般病床を有するもの	2			1				1
		(2)	診療所のうち、診療科名中に特定診療科名を有し、かつ、4人以上の患者を入院させるための施設を有するもの								
		(3)	病院（(1)に掲げるものを除く）、有床診療所（(2)に掲げるものを除く）又は有床助産所	1							1
		(4)	無床診療所又は無床助産所	10	2		3	1	2	1	1
6	ロ	(1)	老人短期入所施設・養護老人ホーム・軽費老人ホーム（避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る）等	20	5		5	2	2	2	4
		(2)	救護施設								
		(3)	乳児院								
		(4)	障害児入所施設								
		(5)	障害者支援施設（避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る）・短期入所等施設	2				2			
6	ハ	(1)	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム（ロ(1)に掲げるものを除く）・老人介護支援センター等	12	3	1	2	1	3	1	1
		(2)	更生施設								
		(3)	助産施設・保育所・児童養護施設・児童自立支援施設等	16	4		3	3	4	1	1
		(4)	児童発達支援センター・情緒障害児短期治療施設等								
		(5)	身体障害者福祉センター・障害者支援施設（ロ(5)に掲げるものを除く）・地域活動支援センター等	5	2		2		1		
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		2	1		1				
7		小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・大学・専修学校・各種学校・その他これらに類するもの		66	14	4	9	14	13	3	9
8		図書館・博物館・美術館その他これらに類するもの		3	2			1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの		1			1				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		3			1		1		1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		7	2		2				3
11		神社・寺院・教会その他これらに類するもの		43	22	3	1	8	3	3	3
12	イ	工場又は作業場		127	32	2	30	14	19	12	18
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		1			1				
13	イ	自動車車庫又は駐車場		21	10		3	1	2	2	3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫									
14		倉庫		96	27		11	11	19	8	20
15		前各項に該当しない事業場		345	78	13	54	63	60	32	45
16	イ	(1)～(4)・(5)イ・(6)・(9)イが存する複合用途防火対象物		214	75	5	30	32	23	11	38
	ロ	上記イに掲げる以外の複合用途防火対象物		155	83		29	10	10	1	22
17		重要文化財									

防火対象物査察状況

(令和3年中)

区分 \ 署所別		計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張所
査 察 件 数		589	140	27	77	88	80	70	107
指導内容	計	556	202	5	85	72	89	28	75
	消 火 設 備	126	34	1	14	18	28	9	22
	警 報 設 備	40	15		11	5	2	3	4
	避 難 設 備	36	16		6	3	7	2	2
	消防用設備等の点検 報 告	191	50	4	22	37	39	9	30
	防 火 管 理 者 選 任	21	15		3		2		1
	消 防 計 画	26	18		4		2		2
	避 難 訓 練	83	37		18	7	9	5	7
	防 炎 物 品	8	5		2	1			
	建 築 構 造 ・ 管 理								
	火 気 使 用 設 備 器 具								
	電 気 設 備								
	危 険 物	8	1						7
	そ の 他	17	11		5	1			

火 災 予 防 指 導 等

(令和3年中)

区分 月別	計	消 火 実 験 及 び 指 導	防 火 講 話	避 難 訓 練 指 導	救 急 法 指 導	一 般 家 庭 防 火 指 導	消 防 広 報	消 防 団 指 導	普 通 救 命 講 習
合計		97	101	150	27	2,494		27	20
1 月	7	2	2	3					
2 月	15	4	3	5	1				2
3 月	662	8	8	21	1	620			4
4 月	44	7	6	10				21	
5 月	21	6	4	8	3				
6 月	41	12	12	13	3			1	
7 月	34	5	8	4	13				4
8 月	6			3	1				2
9 月	12	2	3	4	3				
1 0 月	45	11	10	19				1	4
1 1 月	1,102	19	21	31	1	1,025		3	2
1 2 月	927	21	24	29	1	849		1	2

消防用設備等着工届出等

(令和3年中)

消防用設備等		区分	着工届	設置届	検査済	点検報告
消 火 設 備	消 火 器 具		1	28	12	338
	屋 内 消 火 栓 設 備		2	4	1	35
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備					3
	ス プ リ ン ク ラ ー 消 火 設 備					22
	特定施設水道連結型スプリンクラー設備					8
	泡 消 火 設 備					1
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備					3
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備					6
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備					
	粉 末 消 火 設 備					5
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備		10	17	13	209
	特定小規模施設用自動火災報知設備		4	6	6	24
	住 戸 用 自 動 火 災 報 知 設 備					
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備					2
	漏 電 火 災 警 報 器					
	非 常 警 報 設 備			2	3	45
	共 同 住 宅 用 非 常 警 報 設 備					
	非 常 放 送 設 備			1		18
	消防機関へ通報する火災報知設備					47
避 難 設 備	避 難 器 具		1	1	1	32
	誘 導 灯		2	15	14	232
排 煙 設 備						7
連 結 送 水 管						4
非 常 電 源						28
非 常 電 源 専 用 受 電 設 備						11
自 家 発 電 蓄 電 池 設 備						22
計			20	74	50	1,102

火災予防条例等による届出等

(令和3年中)

区 分 \ 署所別	計	本 署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出 張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
計	701	201	22	179	80	104	43	72
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	36	14		9		2	4	7
ボ イ ラ ー 設 置 届	3	1		1				1
変 電 設 備 設 置 届	1				1			
発 電 設 備 設 置 届	2	1				1		
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届								
乾 燥 設 備 設 置 届	1						1	
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生 するおそれのある行為の届	56	12	1	23	2	4	3	11
煙火の打ち上げ又は仕掛け届	1	1						
催 物 開 催 届	8	3		2	2			1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	26	8		7	6			5
水 道 断 減 水 届								
道 路 工 事 届	14	7	1		3	2		1
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 届	7	3		2		1	1	
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 廃 止 届	8	5				2	1	
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	110	37	1	31	11	17	7	6
防 火 管 理 者 選 (解) 任 届	80	25	2	20	16	10	4	3
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス 貯 蔵 取 扱 い の 開 始 届	4			1				3
毒 物 劇 物 貯 蔵 取 扱 い の 開 始 届								
水素ガスを充てんする気球の設置届								
消 防 訓 練 計 画 書 届	300	74	13	73	31	57	21	31
蓄 電 池 設 備 設 置 届	43	10	4	10	7	8	1	3
サ ウ ナ 設 備 設 置 届								
指 定 可 燃 物 取 扱 い 届	1				1			
消防用設備等の基準の特例適用申請書								
炉 設 置 届 出 書								
防火管理者資格取得講習終了証 再 交 付 申 請								

消防法第7条に基づく同意

(イ) 構造別・工事別

(令和3年中)

工事別 構造別		合計	新築	増築	改築	模様替	用途変更	その他
合計	件数	13	12	1				
	棟数	13	12	1				
	延面積	1,967.70	1,839.70	128.00				
木造	件数	5	4	1				
	棟数	5	4	1				
	延面積	452.67	324.67	128.00				
鉄骨造	件数	4	4					
	棟数	4	4					
	延面積	798.12	798.12					
鉄筋コンクリート造	件数	4	4					
	棟数	4	4					
	延面積	716.91	716.91					
コンクリートブロック造	件数							
	棟数							
	延面積							
鉄骨・鉄筋コンクリート造	件数							
	棟数							
	延面積							
その他	件数							
	棟数							
	延面積							

(ロ) 用途別

(令和3年中)

区分			件数	棟数	延面積	区分		件数	棟数	延面積
1	イ					7				
	ロ					8				
2	イ					9	イ			
	ロ						ロ			
	ハ					10				
	ニ					11				
3	イ					12	イ	3	3	559.64
	ロ						ロ			
4						13	イ			
5	イ						ロ			
	ロ					14		1	1	128.00
6	イ	(1)				15		6	6	759.11
		(2)				16	イ	2	2	359.48
		(3)					ロ			
		(4)				16の2				
	ロ	(1)				16の3				
		(2)				17				
		(3)				18				
		(4)				専用住宅		1	1	161.47
		(5)				その他				
	ハ	(1)								
		(2)								
		(3)								
		(4)								
		(5)								
	ニ					計		13	13	1,967.70

(ハ) 消防用設備等別

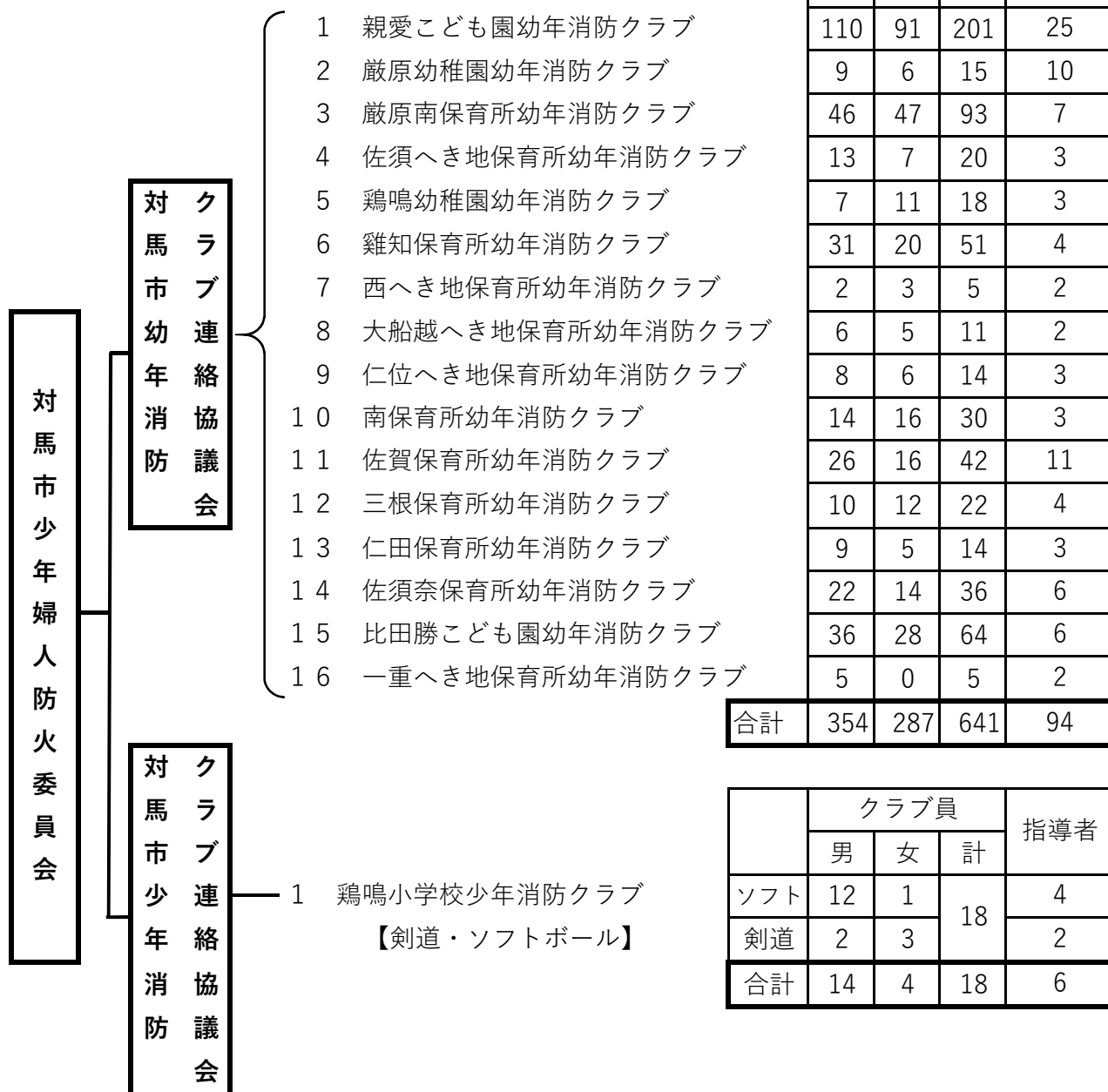
(令和3年中)

計	ス ブ リ ン ク ラ ー	消 火 器	屋 内 消 火 栓	自 動 火 災 報 知 設 備	火 消 防 機 関 へ 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	災 特 定 報 小 規 知 模 用 設 自 動 備 火	誘 導 灯	誘 導 標 識	避 難 器 具
15		8				1		4	2	

対馬市少年婦人防火委員会 組織図

令和4年4月1日現在

(昭和61年12月10日創立)



令和4年4月1日 現在

	クラブ数	クラブ員数 (人)			
		男	女	計	指導者
幼年消防クラブ	16	354	287	641	94
少年消防クラブ	1	14	4	18	6
合計	17	368	291	659	100

危 険 物

(イ) 署所別施設一覧表

(令和3年中)

署所別 区分		計	本 署	美 津 島 出 張 所	豆 畝 分 遣 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
合 計		341	71	78	19	60	50	22	41
貯 蔵 所	小 計	207	46	48	9	32	28	13	31
	屋 内 貯 蔵 所	20	3	4		7		1	5
	屋外タンク貯蔵所	101	16	25	6	20	15	8	11
	屋内タンク貯蔵所	4	2	1			1		
	地下タンク貯蔵所	23	12	5	1		2		3
	簡易タンク貯蔵所	4					2	1	1
	移動タンク貯蔵所	45	12	12		2	5	3	11
	屋 外 貯 蔵 所	10	1	1	2	3	3		
取 扱 所	小 計	134	25	30	10	28	22	9	10
	給 油 取 扱 所	90	18	16	8	17	18	6	7
	販 売 取 扱 所	2		1		1			
	移 送 取 扱 所	1				1			
	一 般 取 扱 所	41	7	13	2	9	4	3	3

(ロ) 規模別施設一覧表

(令和3年中)

区分	倍数別 計	5 倍 未 満	5 倍 以上	10	50	100	150	200	500	1,000
			5 倍 未 満	50	100	150	200	500	1,000	5,000
合 計	341	99	61	89	39	15	11	14	5	8
屋 内 貯 蔵 所	20	12	5	3						
屋外タンク貯蔵所	101	8	13	41	11	3	3	10	5	7
屋内タンク貯蔵所	4	1	2	1						
地下タンク貯蔵所	23	12	5	4	1		1			
簡易タンク貯蔵所	4	4								
移動タンク貯蔵所	45	30		4	7	4				
屋 外 貯 蔵 所	10	6	3	1						
給 油 取 扱 所	90	15	16	28	16	7	7	1		
第 1 種販売取扱所	2	1	1							
第 2 種販売取扱所										
移 送 取 扱 所	1									1
一 般 取 扱 所	41	10	16	7	4	1		3		

(ハ) 署所別・容量別・屋外タンク貯蔵所

(令和3年中)

区分	署所別	計	本 署	美 津 島 出 張 所	豆 酸 分 遣 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
50 kℓ未満		51	9	9	4	8	10	6	5
50 kℓ以上～100 kℓ未満		10		1	2	5	2		
100～300		17	2	1		5	3		6
300～500		6		5				1	
500～1,000		15	5	9				1	
1,000～2,000		0							
2,000～3,000		2				2			
計		101	16	25	6	20	15	8	11
内訳	ガソリン7基	灯油3基	軽油7基		重油76基		その他4基		

(二) 危険物施設許可等

(令和3年中)

区分	署所別	計	設 置		変 更		廃 止	許 可 取 消	タ ン ク の 検 査	仮 使 用 承 認	仮 貯 取 蔵 扱 承 認
			許 可	完 成 検 査	許 可	完 成 検 査					
計		38	2	2	3	3	10	0	0	18	0
本 署		14	1	1	1	1	2			8	
美 津 島 出 張 所		10	1	1	1	1	4			2	
豆 酸 分 遣 所		1								1	
中 部 支 署		9			1	1	2			5	
峰 出 張 所		3					2			1	
北 部 支 署		1								1	
上 対 馬 出 張 所		0									

危険物施設査察状況

(令和3年中)

署所別 施設別	本 署	美 津 島 出張所	豆 敷 分 遣 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張所	合 計
査 察 件 数	79	89	21	90	66	22	46	413
屋 内 貯 蔵 所	2	4		5		1	5	17
屋外タンク貯蔵所	13	24	6	19	17	8	13	100
屋内タンク貯蔵所	2	1			1			4
地下タンク貯蔵所	10	4			1		3	18
簡易タンク貯蔵所					4	1	1	6
移動タンク貯蔵所	7	5		3	5	3	10	33
屋 外 貯 蔵 所		1	2	3	3			9
給 油 取 扱 所	38	24	10	34	28	6	11	151
販 売 取 扱 所		2		1				3
移 送 取 扱 所				9				9
一 般 取 扱 所	7	24	3	16	7	3	3	63

防 警



消防基礎訓練

消 防 力 の 状 況

(イ) 消防本部・消防署

(令和4年4月1日現在)

区分 署所	職員数	ポンプ車 (軽積載車含)	タンク車	化学車	救急車	指揮車 広報車	救助工作車	その他
計	93	8	1	3	9	7	2	5
消 防 本 部	11					1		3
本 署	25	2	1	1	2	1	1	2
美津島出張所	9	1			1	1		
豆 敷 分 遣 所	9	1			1			
中 部 支 署	10	1		1	1	1		
峰 出 張 所	9	1			1	1		
北 部 支 署	10	1		1	2	1	1	
上対馬出張所	10	1			1	1		

(ロ) 消防団

(令和4年4月1日現在)

区分 町別	分団数	団員数		ポンプ車	小型動力 付積載車	小型動力 のみ	広報車
		定員	実員				
計	51	1,600	1,416	21	110		6
消 防 団 本 部		8	8				
巖 原	11	369	295	9	14		1
美 津 島	10	341	297	2	26		1
豊 玉	5	289	258	2	27		1
峰	4	145	171	3	13		1
上 県	9	190	162	3	15		1
上 対 馬	12	258	225	2	15		1

(ハ) 消防水利・市街地等

(令和4年4月1日現在)

区分 署所別	計	消火栓		防 火 水 槽				井 戸	そ の 他	10,000人 以上の 市街地	10,000人 未満 1,000人 以上の 準市街地	1,000人 未満の その他 の地域
		公 設	私 設	100m ³ 以上	40～100m ³ 未 満	20～40m ³ 未 満	私 設					
計	1,601	1,221	2	3	368	2	2	3			4	120
本 署	226	162			64						1	9
豆 酏 分 遣 所	99	78			21							9
美津島出張所	241	184	2		53		2				1	17
中 部 支 署	296	228			68						1	37
峰 出 張 所	353	267			86						1	20
北 部 支 署	178	137			41							13
上対馬出張所	208	165		3	35	2		3				15

(二) 署所別消防車両等

(令和4年4月1日現在)

署 所	型 式	登録番号	ポンプ	種 別	車 名	登録年月日	備 考
本 部	事務連絡車	527 さ 5547			トヨタ	H28. 7. 26	
	防災広報車	327 さ 2614			スバル	H18. 2. 20	日本消防協会寄贈
	救急普及車 啓発広報車	827 さ 801			ニッサン	H25. 11. 27	一般財団法人 救急振興財団寄贈
	豆酥分遣所車 通勤車	480 や 3527			スズキ	R2. 9. 24	
本 署	ポンプ車型 CD-I型	830 は 119	森 田	A-2	日 野	R3. 4. 5	
	タンク車	827 さ 505	森 田	A-1	日 野	H18. 2. 28	
	救急車 (高規格車)	827 さ 864			トヨタ	H27. 3. 17	
	予備救急車 (高規格車)	827 た 1346			トヨタ	H11. 1. 8	
	指揮車	827 さ 741			トヨタ	H23. 12. 26	
	化学車型 II	830 に 119	森 田	A-2	日 野	H27. 2. 16	
	ブーム車(TVF) CD-II型	830 す 2119	森 田	A-2	日 野	H31. 2. 20	
	救助工作車II型	827 は 94			日 野	H22. 11. 24	
	先行消火車	880 た 127	トーハツ	B-2	ダイハツ	H26. 12. 22	
	資器材搬送車	880 も 63			スズキ	H23. 2. 22	
美津島出張所	ポンプ車型 CD-I型	827 さ 341	森 田	A-2	いすゞ	H15. 11. 25	
	救急車 (高規格車)	827 さ 936			トヨタ	H29. 3. 16	
	広報車	880 も 68			スズキ	H23. 3. 24	
豆酥分遣所	先行消火車	880 も 117	トーハツ	B-2	ダイハツ	H25. 12. 13	
	救急車	827 さ 814			トヨタ	H26. 3. 6	
中部支署	ポンプ車型 CD-I型	827 ひ 119	森 田	A-2	日 野	R4. 3. 22	
	救急車 (高規格車)	827 さ 587			ニッサン	H19. 11. 14	
	広報車	88 ち 405			ニッサン	H11. 2. 25	
	化学車型 II	88 た 1069	森 田	A-2	日 野	H6. 11. 28	
峰出張所	ポンプ車型 CD-I型	827 さ 340	森 田	A-2	いすゞ	H15. 11. 25	
	救急車 (高規格車)	827 さ 1102			トヨタ	R2. 10. 30	
	広報車	880 も 67			スズキ	H23. 3. 24	
北部支署	ポンプ車型 CD-I型	827 さ 157	森 田	A-2	日 野	H13. 3. 6	
	救急車 (高規格車)	827 さ 441			トヨタ	H17. 3. 4	
	救急車	827 さ 235			トヨタ	H14. 3. 28	山之内製菓(株) 寄贈
	救助工作車	88 た 939			日 野	H4. 10. 22	
	化学車型 II	830 の 119	森 田	A-2	日 野	R3. 3. 12	
	広報車	827 た 980			トヨタ	H30. 3. 20	
上対馬出張所	ポンプ車型 CD-I型	827 さ 295	森 田	A-2	いすゞ	H15. 3. 12	
	救急車 (高規格車)	827 さ 1096			トヨタ	R2. 2. 26	
	広報車	827 さ 30			ニッサン	H11. 9. 27	

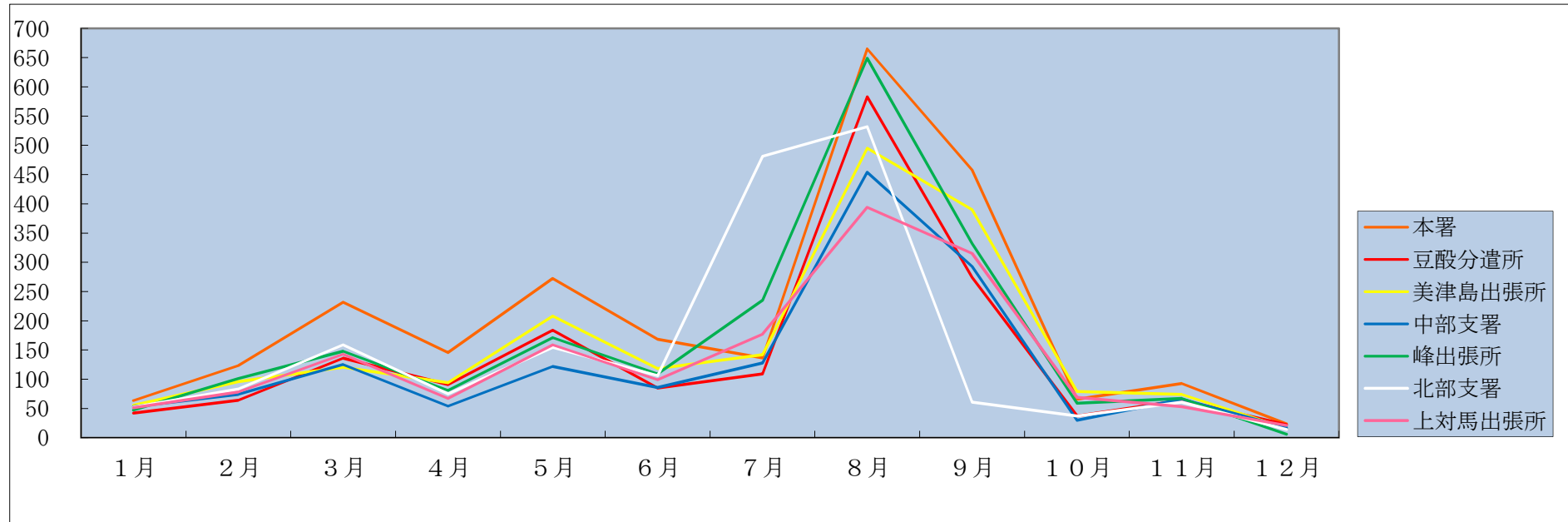
独居老人・寝たきり老人訪問指導

(令和3年中)

区分		署所別	計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
計	男		40	20	5		8	7		
	女		119	72	22		15	10		
	計		159	92	27		23	17		
独居老人	男		39	19	5		8	7		
	女		118	71	22		15	10		
	計		157	90	27		23	17		
寝たきり老人	男		1	1						
	女		1	1						
	計		2	2						

署 所 別 降 雨 量

(令和3年中)



署 所 \ 月	合計	平均	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月
本 署	2, 446. 0	203. 8	63. 5	123. 0	231. 5	145. 5	272. 5	168. 5	136. 5	665. 0	458. 0	66. 0	92. 5	23. 5
豆 殿 分 遣 所	1, 691. 0	140. 9	42. 0	64. 0	136. 0	91. 0	184. 0	85. 0	109. 0	583. 0	274. 0	37. 0	64. 0	22. 0
美津島出張所	1, 888. 0	157. 3	55. 5	96. 0	120. 5	94. 0	208. 0	118. 0	142. 0	495. 0	390. 0	79. 0	74. 0	16. 0
中 部 支 署	1, 502. 0	125. 2	53. 0	74. 0	125. 0	54. 0	122. 0	86. 0	128. 0	454. 0	293. 0	30. 0	66. 0	17. 0
峰 出 張 所	2, 005. 0	167. 1	47. 0	101. 0	148. 0	81. 0	171. 0	109. 0	235. 0	649. 0	332. 0	59. 0	67. 0	6. 0
北 部 支 署	1, 815. 0	151. 3	52. 0	83. 0	159. 0	75. 0	154. 0	106. 0	481. 0	532. 0	61. 0	37. 0	61. 0	14. 0
上対馬出張所	1, 626. 0	135. 5	51. 0	78. 0	143. 0	67. 0	159. 0	99. 0	177. 0	394. 0	315. 0	69. 0	53. 0	21. 0

通 信



通信指令台システム

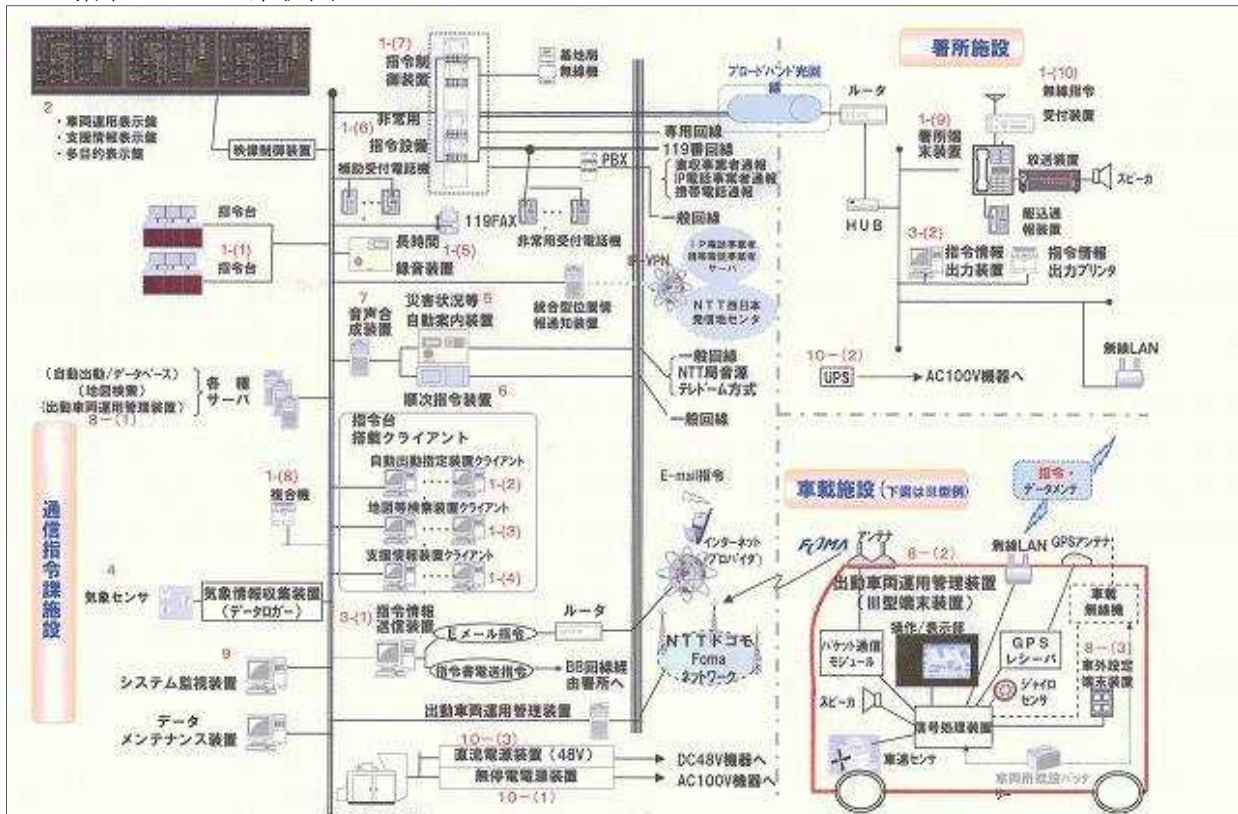
1. 高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線システムの概要

当本部では平成24年度より260MHz帯デジタル無線方式による消防救急無線の整備を実施し、平成26年度の運用開始訓練を経て平成27年3月20日より運用を開始した。また、運用開始から17年が経過した消防指令センターを高機能消防指令センターに更新することにより、火災・救急・救助等の災害種別や規模に応じた部隊編成を迅速かつ的確に行い、出場させ、市民の安心・安全に寄与する役割を担っている。

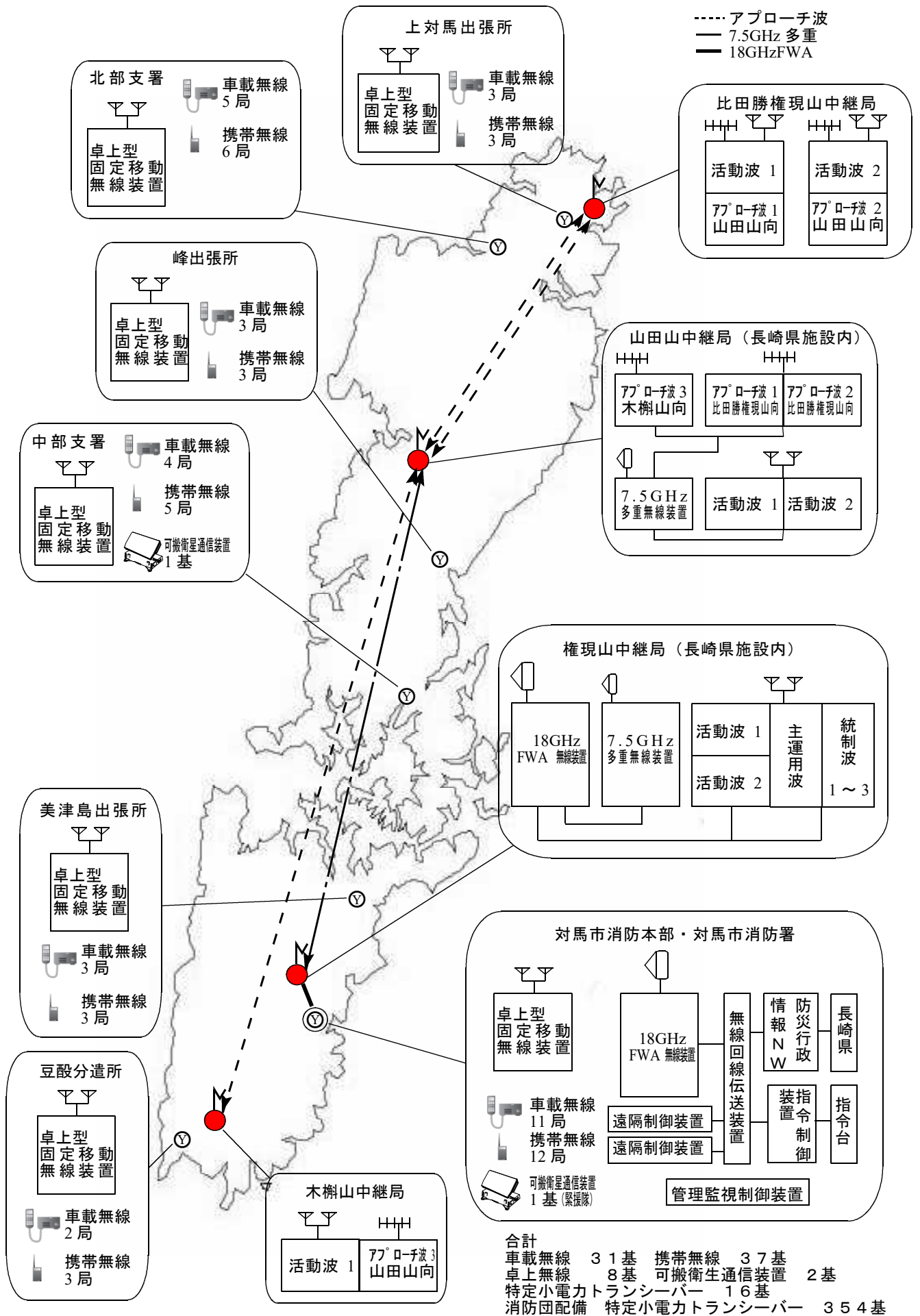
2. 指令装置



3. 指令システム系統図



4. 消防無線設置状況図

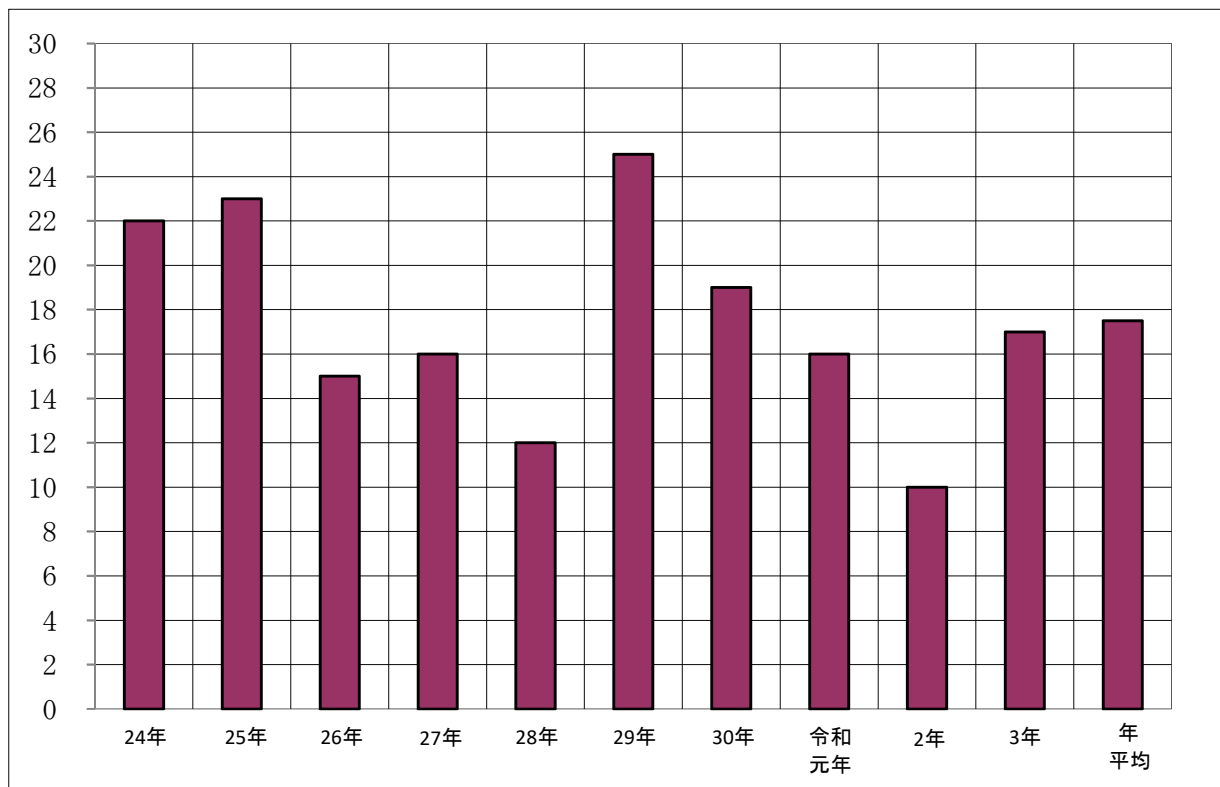


火災



唐洲火災写真

過去10年間の火災発生状況



過去5年間の火災損害額状況

(単位：千円)

種別 \ 年別	29年	30年	令和元年	2年	3年	年平均
建物	51,579	4,492	7,696	3,091	50,478	23,467
林野	0	8	5	0	0	3
その他	15,607	1	245	2,720	774	3,869
計	67,186	4,501	7,946	5,811	51,252	27,339

過去10年間の署所別火災発生状況

年 署所	平成 24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	年平均
本 署	8	8	2	2	3	4	4	3	1	2	4
豆 殿			1	1	2	1	2	2	1	2	2
美 津 島	3	4	5	5	3	5	2	4	2	3	4
中 部	4	3	4	2	1	7	8	2	2	1	3
峰	5	3	1	0	2	5	3	3	1	8	3
北 部	1	2	1	1	1	1	0	0	2	0	1
上 対 馬	1	3	1	5	0	2	0	2	1	1	2
計	22	23	15	16	12	25	19	16	10	17	18

過去10年間の署所別火災損害額状況

(単位：千円)

年 署所	平成 24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年	年平均
本 署	16,697	19,546	3	3,806	2,678	17,377	0	0	0	23	6,013
豆 殿			0	2,723	2,966	0	1,711	200	0	152	969
美 津 島	2,078	5,362	8,195	4,760	5,010	10,003	8	4,907	2,500	2,065	4,489
中 部	11,072	72	793	671	0	24,372	2,503	20	3,088	9,583	5,217
峰	7,970	383	0	0	12,948	14,857	279	405	220	24,537	6,160
北 部	12,725	2,190	88	0	493	541	0	0	0	14,892	3,093
上 対 馬	0	20	8,448	168	0	36	0	2,414	3	0	1,109
計	50,542	27,573	17,527	12,128	24,095	67,186	4,501	7,946	5,811	51,252	26,856

火 災 種 別 一 覧 表

(令和3年中)

月 別	件 数	火 災 種 別																				損 害 額 合 計 (千円)						
		建 物 火 災 用 途 別 内 訳																	林 野				車 両		船 舶		そ の 他	
		件 数	専 用 住 宅	共 同 住 宅	遊 技 場	飲 食 店	店 舗	工 場	駐 車 場	火 災 複 合 用 途 ・ 非 特 定	火 災 複 合 用 途 ・ 特 定	そ の 他	焼 損 面 積 (㎡)	焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	負 傷 者	死 者	損 害 額 (千円)	件 数	焼 損 面 積 (a)		損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数
計	17	11	5								6	865	20	11	26	2	1	50,478						1	774	5		51,252
1	2	1	1												1	1	1		23							1		23
2																												
3	2	2	1								1	142	5	2	2		1	14,892										14,892
4	1																									1		
5	1																									1		
6	2	2	1								1	233	2	2	7	1		1,815										1,815
7																												
8	1	1									1	366	4					22,862										22,862
9	3	3	1								2	123	7	4	12			10,874										10,874
10	1																									1		
11	2																							1	774	1		774
12	2	2	1								1	1	2	2	4			12										12

覚知別火災発生状況

(令和3年中)

覚知別 区分			合 計	119	加 入 電 話	警 察 電 話	駆 け 付 け	事 後 聞 知	そ の 他
火災 件数	合 計		17	12	1			4	
	内 訳	建 物	11	8				3	
		林 野							
		そ の 他	6	4	1			1	
焼損 棟数	全 焼		5	5					
	半 焼								
	部 分 焼		9	9					
	ぼ や		6	4				2	
り災 世帯	全 損		2	2					
	半 損								
	小 損		9	7				2	
焼損 面積	建 物 （ ㎡ ）		865	864				1	
	林 野 （ a ）								
り 災 人 員			26	23				3	
死傷 者	死 者		1	1					
	負 傷 者		2	1				1	
損 害 額 （ 千 円 ）			51,252	51,224				28	
火災1件当たりの 平均損害額(千円)			3,015	4,269				7	

町別火災発生状況

(令和3年中)

町別 区分			合計	対 馬 市					
				厳 原 町	美津島町	豊 玉 町	峰 町	上 県 町	上対馬町
火災 件数	合 計		17	4	3		5	4	1
	内 訳	建 物	11	3	2		2	4	
		林 野							
		そ の 他	6	1	1		3		1
焼 損 棟 数	全 焼		5		1		2	2	
	半 焼								
	部 分 焼		9		4		3	2	
	ぼ や		6	2	1			3	
災 害 世 帯	全 損		2					2	
	半 損								
	小 損		9	2	3		1	3	
焼 損 面 積	建 物 （ m ² ）		865	1	102		387	375	
	林 野 （ a ）								
災 人 員			26	6	10		2	8	
死 傷 者	死 者		1					1	
	負 傷 者		2	1				1	
損 害 額 （ 千 円 ）			51,252	175	2,065		32,445	16,567	
火災1件当たりの 平均損害額（千円）			3,015	44	688		6,489	4,142	

気象別火災発生状況

(令和3年中)

種別 区分		合 計	火災件数				焼損棟数				損 害 額	以上の火災 件数 百万円数
			建物火災		林 野	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
			延 焼	非 延 焼								
合 計		17	3	8		6	5		9	6	51,252	4
風速	静 穏	13	3	5		5	5		8	4	51,093	4
	2.0m以上～3.0m未満	1		1						1	152	
	3.0m以上～5.0m未満	1		1						1		
	5.0m以上～7.0m未満	1				1						
	7.0m以上～10.0m未満	1		1					1		7	
	10.0m以上											
相対湿度	40%未満	1		1					1		7	
	40 % 以上～50%未満											
	50 % 以上～60%未満	2				2						
	60 % 以上～70%未満											
	70 % 以上～80%未満	6	1	3		2	1		1	4	15,072	1
	80 % 以上～90%未満	6	2	3		1	3		7	2	33,736	2
	90%以上	2		1		1	1				2,437	1
天候	快 晴	2	1			1	1		1	2	14,892	1
	晴	8	1	4		3	2		3	2	23,049	
	く も り	6	1	4		1	2		5	2	12,537	3
	雨	1				1					774	
	そ の 他											

月別・曜日別・時間別火災発生状況

(令和3年中)

時間別	計	月 別												曜 日 別						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	日	月	火	水	木	金	土
計	17	2		2	1	1	2		1	3	1	2	2	4	3	2	1	3	3	1
6～7																				
7～8	2	2																1		1
8～9																				
9～10																				
10～11	1			1											1					
11～12																				
12～13	2								1				1	1				1		
13～14	1											1					1			
14～15	1				1														1	
15～16																				
16～17	1										1								1	
17～18	1						1											1		
18～19	2			1			1									1			1	
19～20																				
20～21																				
21～22	1												1		1					
22～23	1					1								1						
23～24																				
0～1																				
1～2	1											1			1					
2～3	3									3				2		1				
3～4																				
4～5																				
5～6																				
不明																				

原因別火災発生状況

(令和3年中)

原因別 区分			合 計	た き 火	コ ン ロ	風 呂 か ま ど	ス ト ー ブ	た ば こ	火 遊 び	放 火	灯 火	電 灯 等 の 配 線	不 明	そ の 他	
火 災 件 数	合 計		17	1		1	1	2					4	8	
	内 訳	建 物	11			1	1	1					2	6	
		林 野													
		そ の 他	6	1					1					2	2
焼 損 棟 数	全 焼		5			1							1	3	
	半 焼														
	部 分 焼		9										2	7	
	ぼ や		6					1					2	3	
焼 損 面 積	建 物 （ m ² ）		865			232		1					163	469	
	林 野 （ a ）														
死 傷 者	死 者		1										1		
	負 傷 者		2			1							1		
損 害 額 （ 千 円 ）			51,252			1,663	23	5					25,249	24,312	

主 要 火 災

(令和3年中)

発生場所 区分		峰町三根	上県町佐護西里	峰町吉田
火 災 種 別		建物火災	建物火災	建物火災
発 生 年 月 日		8月5日	3月26日	9月19日
出 火 時 分		12時10分	18時45分	2時25分
覚 知 時 分		12時21分	18時57分	2時31分
鎮 火 時 分		15時01分	20時20分	3時10分
覚 知 別		119（加入）	119（携帯）	119（携帯）
出 火 原 因		ゴミ焼却炉の火の粉	不明	不明
気 象 状 況	天 気	晴	快晴	曇
	風 向	東南東	東	北北東
	風 速（m/s）	1	1	1
	相 対 湿 度（%）	81	75	87
焼 損 棟 数	全 焼	2	1	1
	半 焼			
	部 分 焼	2	1	
	ぼ や		2	
焼損面積（㎡・a）		366	142	21
り 災 世 帯	全 損		1	
	半 損			
	小 損		1	1
り 災 人 員			2	2
死 傷 者	死 者		1	
	負 傷 者			
損害額（千円）		22,862	14,892	9,583

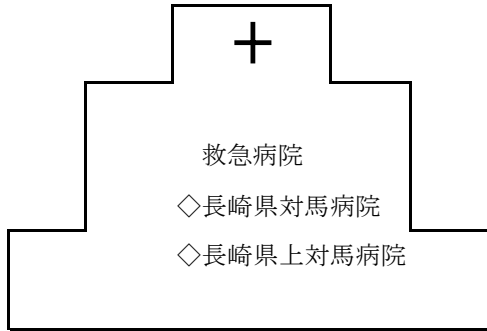
救 急



救急シミュレーション訓練

救急一目統計

(令和3年中)



高規格救急車 7台

標準救急車1台

○出場 件数	1,757 件	○搬送人員	1,669 人
○搬送 件数	1,662 件	○不 搬 送	95 件

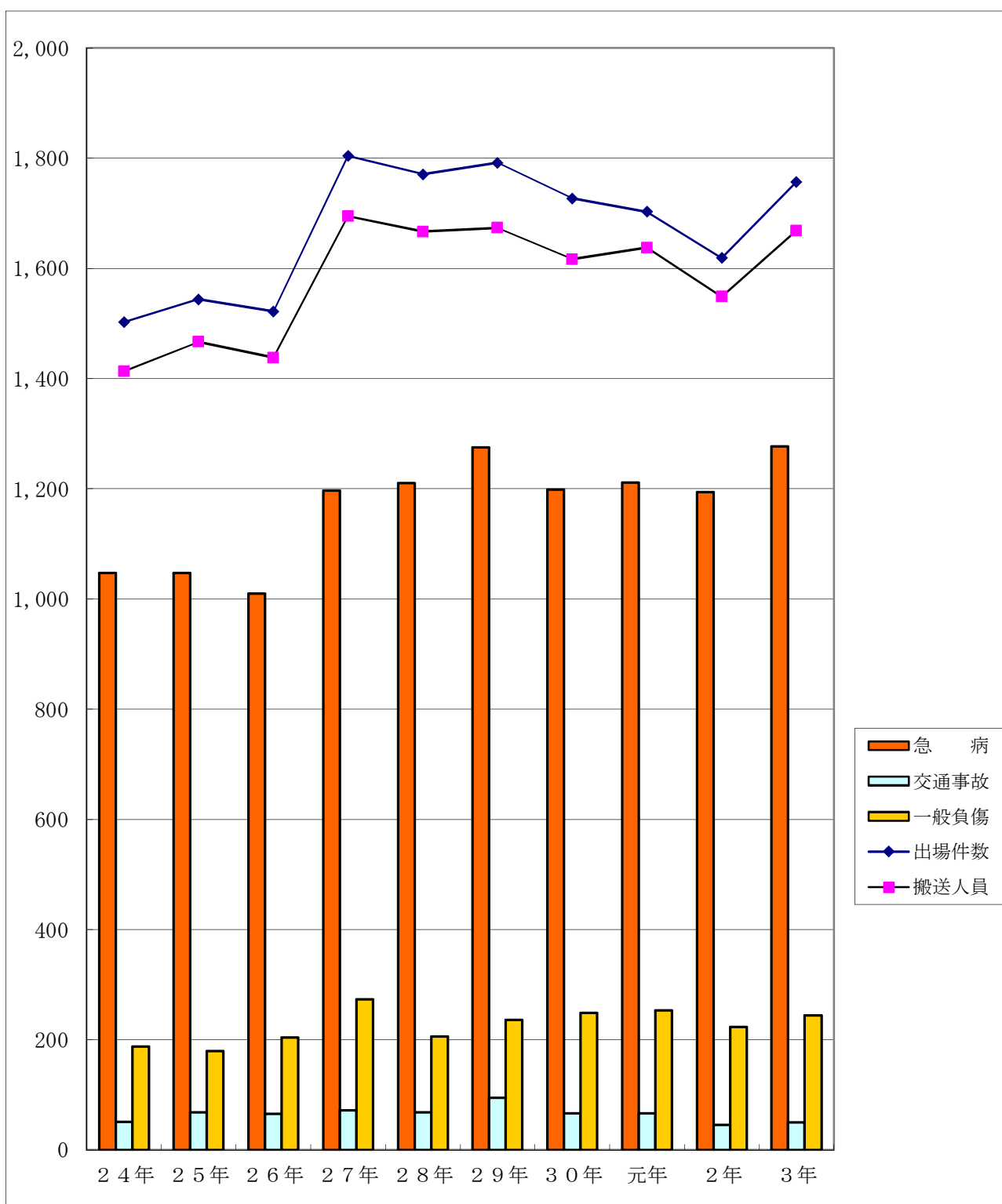
* 高規格救急車（豆殻を除く）の出場件数			1,651 件
* 高規格救急車による搬送人員			1,651 人
* 特定行為の実施件数			21 件

出場件数1,757件			
急病	交通事故	一般負傷	その他
1,277件	50件	244件	186件
72.7%	2.8%	13.9%	10.6%

○救急出場の多かった		○1回の出場で	
・ 月は 12 月	171 件	・ 最長所要時間は	5時間55分
・ 曜日は 月曜 日	280 件	・ 最長走行距離は	171.6 km
・ 時間帯は8時～10時	248 件	・ 最多患者搬送は	3 人
・ 町は 厳原 町	603 件		

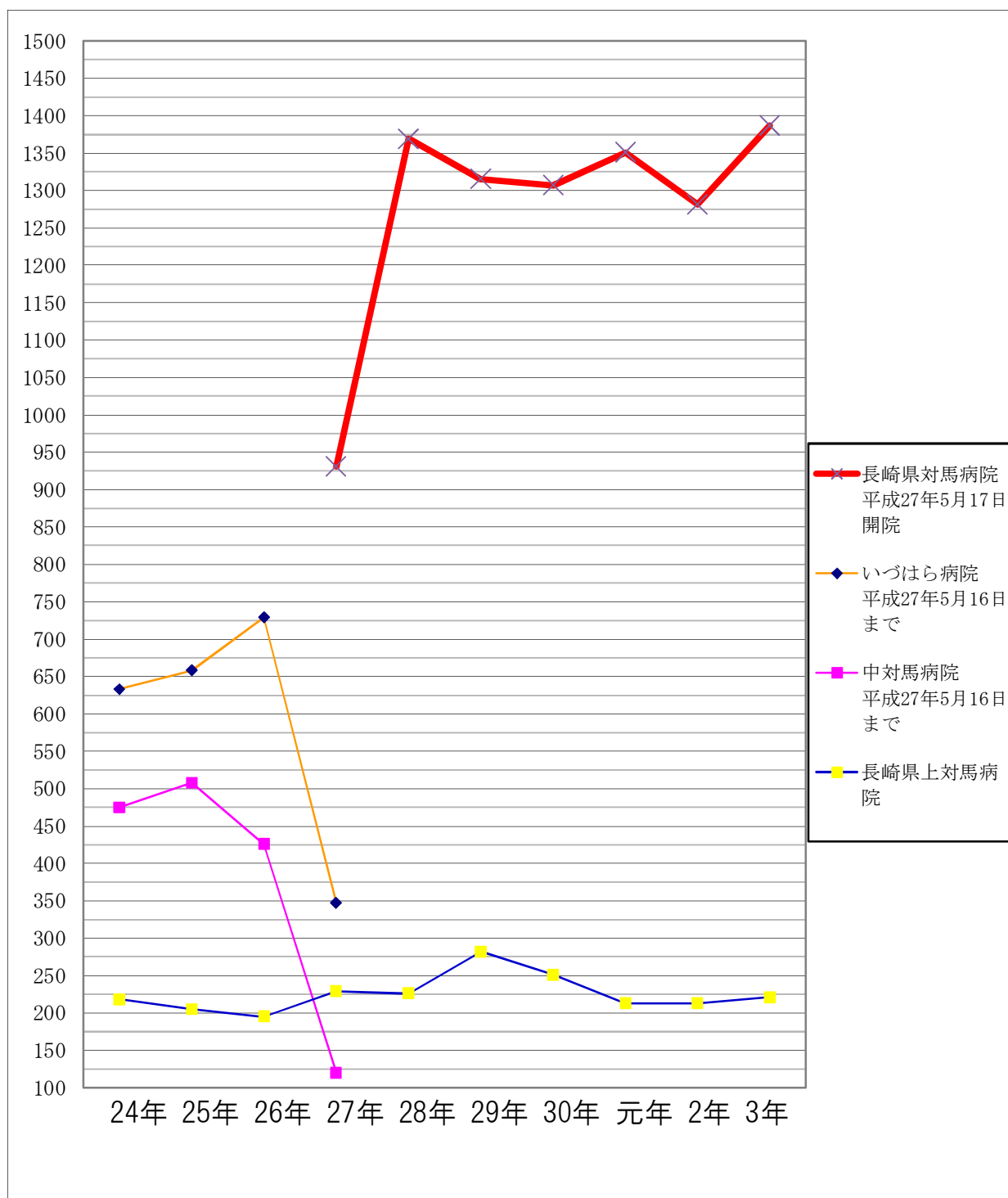
○1日当たりの平均出場件数	4.81 件	○ヘリコプター搬送(下り含まず)	42 人
○1日当たりの平均搬送人員	4.57 人	○ドクターヘリ搬送(下り含まず)	18 人
○1日の最多出場	13 件	○資機材等搬送	0 件
○人口1,000人当たりの出場件数61件(切り捨て)		○定期航路	1 人
○住民17 人 に1人の割合で搬送されている(切り捨て)		○医師搬送	0 人
○5時間41分 に1件の割合で救急隊が出場している			

過去 10 年間の救急活動の推移



区分 \ 年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
出場件数	1,503	1,544	1,522	1,804	1,771	1,792	1,727	1,703	1,619	1,757
搬送人員	1,413	1,467	1,438	1,695	1,667	1,674	1,617	1,638	1,549	1,669
急病	1,047	1,047	1,010	1,197	1,210	1,275	1,199	1,211	1,194	1,277
交通事故	51	68	65	72	68	95	66	66	45	50
一般負傷	188	179	204	273	206	236	249	253	223	244

過去10年間の救急告示病院搬送の推移



病院 \ 年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
長崎県対馬病院 平成27年5月17日開院				931	1,369	1,315	1,307	1,351	1,281	1,387
いづはら病院 平成27年5月16日まで	633	658	729	347						
中対馬病院 平成27年5月16日まで	475	508	426	120						
長崎県上対馬病院	218	205	195	229	226	282	251	213	213	221

過去 10 年間の島外搬送の推移

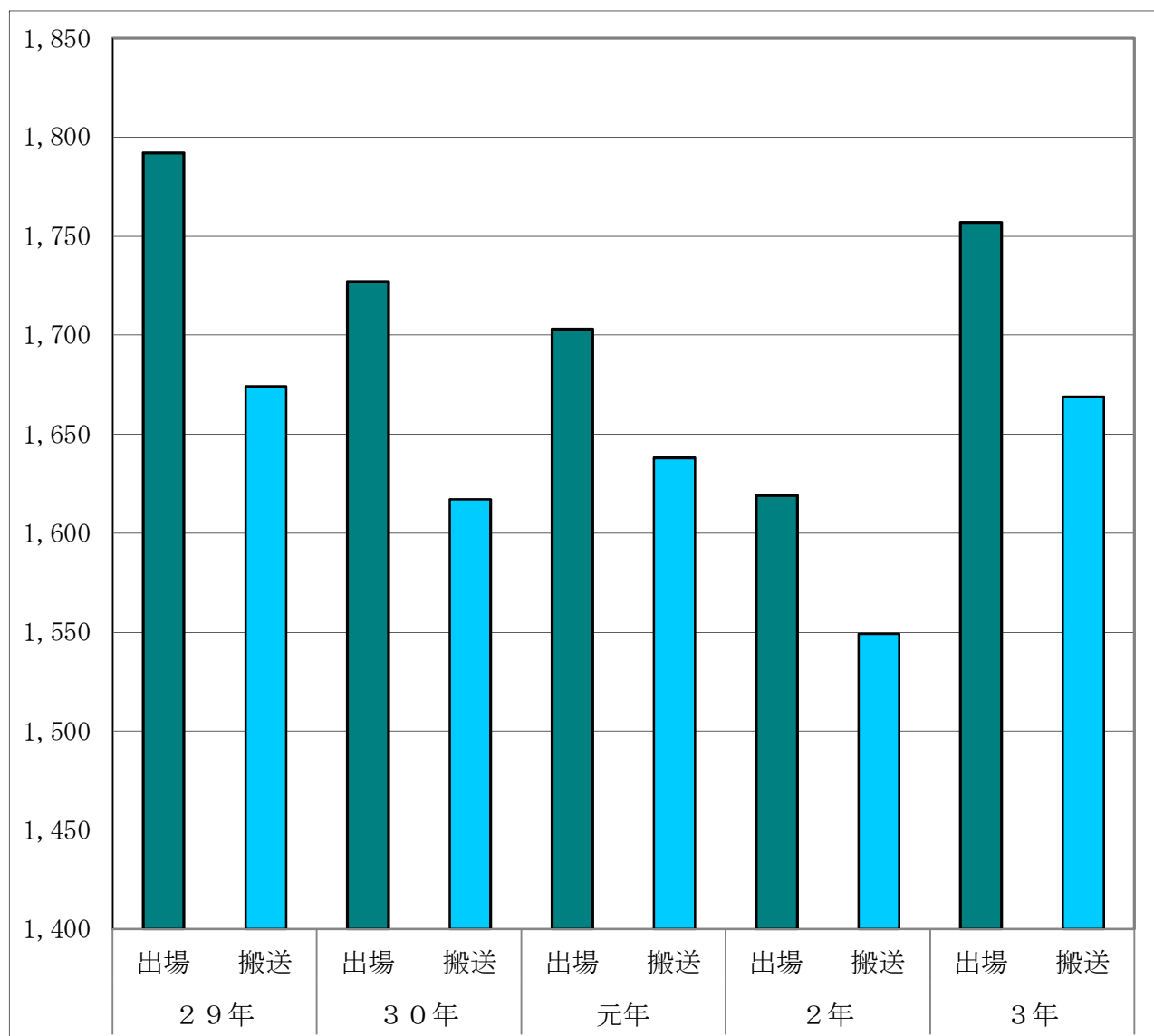
1. ヘリコプター搬送診療科目別状況

年 区分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
脳外科	50	34	36	31	39	40	35	46	36	37
内科	19	48	33	21	18	17	11	12	8	14
整形外科	3	5	13	9	10	2	6	6	4	3
新生児		1		1		2	1	3		
その他	7	6	5	4	3	11	5	5	7	6

2. 島外搬送機関別状況

年 区分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
計	81	95	87	66	71	73	59	73	55	61
ヘリ搬送	79	94	87	66	70	72	58	72	55	60
(うちドクターヘリ)	(62)	(73)	(64)	(44)	(47)	(49)	(33)	(43)	(40)	(42)
定期航空	1				1					
定期船	1	1				1	1	1		1

過去5年間の事故種別救急活動の推移



種別 \ 年	29年		30年		元年		2年		3年	
	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送
計	1,792	1,674	1,727	1,617	1,703	1,638	1,619	1,549	1,757	1,669
火災	1	1			1	1	2	2	9	1
自然災害							1	1		
水難	5	5	5	5	4	3	3	2	8	4
交通事故	95	88	66	66	66	74	45	45	50	50
労働災害	12	12	9	9	15	16	12	12	10	10
運動競技	7	6	5	5	6	6	6	6	2	2
一般負傷	236	299	249	249	253	245	223	217	244	237
加害	2	2	5	6	4	4	3	1	5	5
自損行為	4	1	14	9	10	6	15	11	6	3
急病	1,275	1,191	1,199	1,140	1,211	1,158	1,194	1,138	1,277	1,210
その他	155	155	175	128	133	125	115	114	146	147

過去5年間の傷病程度別の推移

() 割合 %

年 程度	29	30	元	2	3	平均件数 (%)
計	1,674	1,617	1,638	1,549	1,669	1,629
	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
死 亡	31	37	33	39	35	35
	(1.9)	(2.3)	(2.0)	(2.5)	(2.1)	(2.1)
重 症	225	202	208	232	238	221
	(13.4)	(12.5)	(12.7)	(15.0)	(14.3)	(13.6)
中等症	648	609	629	602	698	637
	(38.7)	(37.7)	(38.4)	(38.9)	(41.8)	(39.1)
軽 症	746	743	738	661	679	713
	(44.6)	(45.9)	(45.1)	(42.7)	(40.7)	(43.8)
その他	24	26	30	15	19	23
	(1.4)	(1.6)	(1.8)	(1.0)	(1.1)	(1.4)

事故種別・月別救急状況

(令和3年中)

種別区分		計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	その他				不 搬 送
													転 院	医 師	資 機 材	そ の 他	
計	出場件数	1,757	9		8	50	10	2	244	5	6	1,277	126			20	95
	搬送人員	1,669	1		4	50	10	2	237	5	3	1,210	147				
一 月	出場件数	153				7			19			121	6				10
	搬送人員	143				6			19			112	6				
二 月	出場件数	111				7			13	1	1	79	8			2	4
	搬送人員	108				8			13	1	1	75	10				
三 月	出場件数	166	1			2	3		28			117	13			2	9
	搬送人員	157				1	3		26			112	15				
四 月	出場件数	120				1	1		15		1	91	8			3	8
	搬送人員	112				1	1		14		1	84	11				
五 月	出場件数	133			1	4	1		17			102	6			2	7
	搬送人員	127			1	4	1		17			95	9				
六 月	出場件数	119	1			4			20			87	6			1	5
	搬送人員	117	1			6			18			85	7				
七 月	出場件数	161			3	6			23		1	111	13			4	8
	搬送人員	154			1	6			23			107	17				
八 月	出場件数	157	2			1	1		23		1	118	9			2	6
	搬送人員	151				1	1		23		1	114	11				
九 月	出場件数	151	3			2	1		25	1		105	14				6
	搬送人員	145				2	1		24	1		103	14				
十 月	出場件数	149	1		2	5	2	1	20	2	1	105	10				6
	搬送人員	144			1	6	2	1	20	2		102	10				
十一 月	出場件数	166			2	3	1		19		1	123	15			2	15
	搬送人員	151			1	2	1		19			111	17				
十二 月	出場件数	171	1			8		1	22	1		118	18			2	11
	搬送人員	160				7		1	21	1		110	20				

署所別・月別救急状況

(令和3年中)

署 所 別			本 署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出 張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
月	区分	計							
計	出場件数	1,757	506	106	323	259	282	104	177
	搬送人員	1,669	468	102	315	250	269	93	172
一 月	出場件数	153	49	9	23	25	28	8	11
	搬送人員	143	45	9	23	23	25	7	11
二 月	出場件数	111	37	3	14	18	16	9	14
	搬送人員	108	36	3	14	18	15	8	14
三 月	出場件数	166	44	8	32	31	20	17	14
	搬送人員	157	41	7	30	31	20	16	12
四 月	出場件数	120	30	2	30	19	27	5	7
	搬送人員	112	25	2	28	19	27	4	7
五 月	出場件数	133	45	7	30	12	26	2	11
	搬送人員	127	40	7	29	12	26	2	11
六 月	出場件数	119	38	11	18	12	20	8	12
	搬送人員	117	37	11	19	12	19	8	11
七 月	出場件数	161	48	11	32	20	27	5	18
	搬送人員	154	43	11	32	19	26	5	18
八 月	出場件数	157	44	13	34	22	20	8	16
	搬送人員	151	42	13	34	20	20	6	16
九 月	出場件数	151	37	10	20	30	25	12	17
	搬送人員	145	35	10	19	29	25	11	16
十 月	出場件数	149	42	9	27	20	24	10	17
	搬送人員	144	40	9	27	21	22	9	16
十 一 月	出場件数	166	45	12	28	27	22	12	20
	搬送人員	151	40	10	25	26	20	10	20
十 二 月	出場件数	171	47	11	35	23	27	8	20
	搬送人員	160	44	10	35	20	24	7	20

事故種別・署所別出場状況

(令和3年中)

事故別 署所別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	1,757	9		8	50	10	2	244	5	6	1,277	146
本 署	506			3	14	3	1	75	1	2	398	9
豆 酸 分 遣 所	106							17	1		88	
美 津 島 出 張 所	323	1		2	8	1	1	41			212	57
中 部 支 署	259	3			17	3		39	2	1	187	7
峰 出 張 所	282			2	9	3		43	1	2	221	1
北 部 支 署	104	5			1			12			82	4
上 対 馬 出 張 所	177			1	1			17		1	89	68

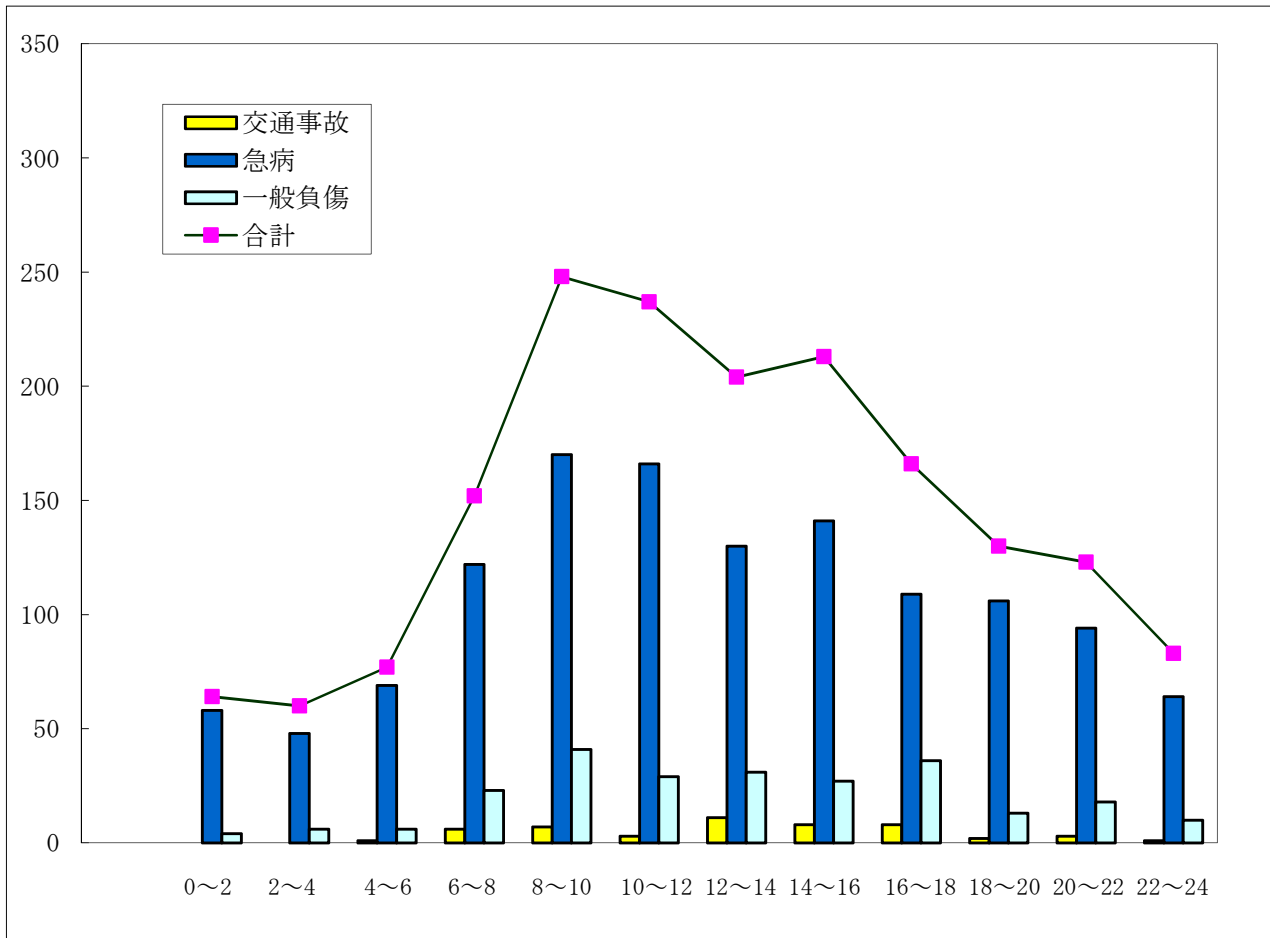
事故種別・曜日別出場状況

(令和3年中)

種別 曜日別	合計	月	火	水	木	金	土	日
合 計	1,757	280	249	240	233	253	257	245
火 災	9		1		3	2		3
自 然 災 害								
水 難	8	1		1				6
交 通 事 故	50	7	9	6	6	10	6	6
労 働 災 害	10	1	3	1	1	1	3	
運 動 競 技	2	1					1	
一 般 負 傷	244	33	22	28	33	40	43	45
加 害	5	1	1		1	1		1
自 損 行 為	6			1	1	3	1	
急 病	1,277	208	185	186	166	178	182	172
そ の 他	146	28	28	17	22	18	21	12

事故種別・時間別出場状況

(令和3年中)



種別 \ 時間別	合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合 計	1,757	64	60	77	152	248	237	204	213	166	130	123	83
火 災	9		3					3		1	2		
自 然 災 害	0												
水 難	8			1		1			4		2		
交 通 事 故	50			1	6	7	3	11	8	8	2	3	1
労 働 災 害	10		1			2	3	2	2				
運 動 競 技	2							1				1	
一 般 負 傷	244	4	6	6	23	41	29	31	27	36	13	18	10
加 害	5	1							2	1			1
自 損 行 為	6				1		1		2	1	1		
急 病	1,277	58	48	69	122	170	166	130	141	109	106	94	64
そ の 他	146	1	2			27	35	26	27	10	4	7	7

事故種別・傷病程度別・性別搬送状況

(令和3年中)

事故別 程度別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	男	919	1		3	23	9	2	119	1	2	680	79
	女	750			1	27	1		118	4	1	530	68
	計	1,669	1		4	50	10	2	237	5	3	1,210	147
死 亡	男	20									2	18	
	女	15										15	
	計	35									2	33	
重 症	男	140	1		1	4	3		14			87	30
	女	98				3			17		1	50	27
	計	238	1		1	7	3		31		1	137	57
中 等 症	男	394			2	5	3	1	46	1		298	38
	女	304			1	5	1		53			216	28
	計	698			3	10	4	1	99	1		514	66
軽 症	男	356				14	3	1	59			277	2
	女	323				19			48	4		249	3
	計	679				33	3	1	107	4		526	5
そ の 他	男	9											9
	女	10											10
	計	19											19

事故種別・年齢区分別・性別搬送状況

(令和3年中)

事故種別 \ 年齢区分		男	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 以上
		女									
計		1,669	31	23	31	41	69	100	209	373	792
	1,669	919	15	15	13	16	39	71	135	224	391
		750	16	8	18	25	30	29	74	149	401
火 災	1	1									1
自 然											
水 難	4	3	1	1					1		
		1									1
交 通	50	23	1	3	3		4		3	6	3
		27		1	4	3	3	2	4	5	5
労 災	10	9					5	3	1		
		1					1				
運 動	2	2		1	1						
一 般	237	119	1	1	1	2	6	8	19	29	52
		118	4	1	2	1	2	3	8	24	73
加 害	5	1								1	
		4						1		2	1
自 損	3	2								1	1
		1				1					
急 病	1,210	680	11	8	6	13	22	57	94	169	300
		530	9	6	10	13	24	21	55	104	288
そ の 他	147	79	1	1	2	1	2	3	17	18	34
		68	3		2	7		2	7	14	33

署所別・医療機関等別搬送状況

(令和3年中)

署所別 医療機関等別		合 計		本 署	豆 殿 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
合 計		計	1,669	468	102	315	250	269	93	172
		割合 (%)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
救急告示病院	対 馬 病 院	計	1,387	466	102	260	250	232	11	66
		割合 (%)	(83.1)	(99.6)	(100.0)	(82.5)	(100.0)	(86.2)	(11.8)	(38.4)
	上 対 馬 病 院	計	221			2		37	81	101
		割合 (%)	(13.2)			(0.6)		(13.8)	(87.1)	(58.7)
その他の医療機関	豊 玉 診 療 所	計								
		割合 (%)								
	い づ は ら 診 療 所	計								
		割合 (%)								
	仁 田 診 療 所	計								
		割合 (%)								
その他	ドクターヘリ	計	42	1		36			1	4
		割合 (%)	(2.5)	(0.2)		(11.4)			(1.1)	(2.3)
	ヘリコプター	計	18	1		16				1
		割合 (%)	(1.1)	(0.2)		(5.1)				(0.6)
	そ の 他	計	1			1				
		割合 (%)	(0.1)			(0.3)				

医療機関等への収容所要時間別搬送状況

(令和3年中)

時間別 事故別	合 計	10分	10分	20分	30分	60分	120分
		未満	～ 20分	～ 30分	～ 60分	～ 120分	以上
合 計	1,669	4	159	387	792	316	11
急 病	1,210	2	110	286	607	202	3
交 通 事 故	50		4	9	30	7	
一 般 負 傷	237	1	20	55	119	42	
そ の 他	172	1	25	37	36	65	8

病院等の要請による救急出場件数及び搬送人員

(令和3年中)

区 分	要 請 区 分	出 場 件 数	搬 送 人 員
病院等の要請により他の病院へ搬送したもの（転院搬送）	CT等の検査のため	14	14
	その他の検査のため	33	33
	入 院 の た め	2	2
	手 術 の た め	30	30
	そ の 他	5	5
上記以外で病院等の要請により搬送したもの	空 港 ま で 搬 送		
	海自・ドクターヘリ搬送	60	60
	連 絡 船 ま で 搬 送	1	1
	そ の 他	1	2
合 計		146	147

救急隊による応急処置状況

(令和3年中)

傷 病 程 度	各 合 計			応 急 処 置 区 分															
	傷 病 程 度 別 数	応 急 処 置 人 員	応 急 処 置 件 数	止 血	固 定	人 胸 工 骨 呼 吸 迫	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	（気 管 挿 管 等） 保	気 道 確 保	輸 液 ・ 薬 剤	被 覆	除 細 動	そ の 他	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 取 る	測 定 度	酸 素 飽 和 濃 度	心 電 図
合 計	1,669	1,663	5,360	48	52	8	36	391	2	13	3	0	985	1,463	152	1,623	584		
死 亡	35	34	113			8	28	32		5				5		7	28		
重 症	238	237	797	1	11		8	109	2	7			98	213	10	232	106		
中 等 症	698	697	2,392	15	23			182		1	3		481	634	93	693	267		
軽 症	679	676	1,997	32	18			58					394	596	49	673	177		
そ の 他	19	19	61					10					12	15		18	6		

覚 知 別 出 場 状 況

(令和3年中)

月別 覚知別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	1,757	153	111	166	120	133	119	161	157	151	149	166	171
119番	1,510	136	92	140	100	116	104	141	135	130	128	139	149
加入電話	167	12	13	14	12	10	11	14	15	11	12	24	19
自己覚知	0												
駆け付け	76	4	6	12	8	6	3	6	6	10	9	3	3
消防無線	4	1				1	1		1				
そ の 他	0												

過去5年間の月別普通救命講習受講者数

(令和3年中)

年 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	1,038	44	104	115	11	15	75	117	94	36	219	155	53
平成29年	105				11			3	24	11	23	33	
平成30年	199		17	27		15	6	40	34	4	31	21	4
令和元年	402	23	30				69	47	19	13	95	62	44
令和2年	116	21	45					15	13	8	4	7	3
令和3年	216		12	88				12	4		66	32	2

町別・月別普通救命講習受講者数

(令和3年中)

町 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	216	0	12	88	0	0	0	12	4	0	66	32	2
厳原町	49		12	8				1	1		10	16	1
美津島町	0												
豊玉町	108			80				9	3			16	
峰 町	46										46		
上 県 町	13							2			10		1
上対馬町	0												
豆 酸	0												

救 助



消防活動マニュアルに伴う「はしごクレーン救助」

救助活動事故種別状況

(令和3年中)

事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他の事故
区分	合計									
出動件数	15		7	3						5
活動件数	5		1	1						3
救助人員	9		2	4						3

事故種別・出動人員活動人員状況

(令和3年中)

事故種別 区分		合計	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他の事故
出動 隊員	合計	98		48	20						30
	専任救助隊員										
	兼任救助隊員	29		14	9						6
	消防隊員	18		8							10
	救急隊員	51		26	11						14
	消防団員										
活動 隊員	合計	40		13	7						20
	専任救助隊員										
	兼任救助隊員	9		3	2						4
	消防隊員	12		4							8
	救急隊員	19		6	5						8
	消防団員										

救助活動事故種別・発生場所別状況

(令和3年中)

発生場所 \ 事故種別			合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故
屋 内	住 居	出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
	そ の 他	出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
屋 外	道 路	出動件数	7		7							
		活動件数	1		1							
		救助人員	2		2							
	水 面	出動件数	4			3						1
		活動件数	1			1						
		救助人員	4			4						
	山 岳	出動件数	3									3
		活動件数	2									2
		救助人員	2									2
	そ の 他	出動件数	1									1
		活動件数	1									1
		救助人員	1									1
地 下		出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
そ の 他		出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
合 計		出動件数	15		7	3						5
		活動件数	5		1	1						3
		救助人員	9		2	4						3

救助活動のための機械器具等保有状況

(令和4年4月1日現在)

分 類	種 類	合 計	南 部	中 部	北 部
一般救助用器具	かぎ付きはしご	7	3	2	2
	三連はしご	10	4	3	3
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	7	4	0	3
	空気式救助マット	2	1	0	1
	救命索発射銃	1	1	0	0
	救助者用縛帯	16	8	5	3
	平担架	3	1	1	1
重量物排除器具	油圧ジャッキ	4	2	1	1
	油圧スプレッダー	6	3	1	2
	可搬ウインチ	6	2	2	2
	マンホール救助器具	1	1	0	0
	マット型エアージャッキ	2	1	0	1
	大型油圧スプレッダー	3	1	1	1
	救助用支柱器具	1	1	0	0
切断用器具	油圧切断機	4	2	2	0
	エンジンカッター	8	4	2	2
	ガス溶断機	2	1	0	1
	チェーンソー	11	6	2	3
	鉄線カッター	22	11	5	6
	エアカッター	2	2	0	0
	大型油圧切断機	3	1	1	1
破壊用器具	レシプロソー	2	1	0	1
	空気鋸	3	1	1	1
	万能斧	27	13	6	8
	ハンマー	21	10	4	7
	携帯用コンクリート破壊器具	2	2	0	0
測定器具	削岩機	2	2	0	0
	ハンマドリル	1	1	0	0
	可燃性ガス測定器	7	3	2	2
	放射能測定器	18	18	0	0
呼吸保護用器具	空気呼吸器	45	21	11	13
	空気補充用ボンベ	85	31	27	27
	酸素呼吸器	5	5	0	0
	簡易呼吸器	5	5	0	0
	防塵マスク	56	32	14	10
	送排風機	1	1	0	0

分 類	種 類	合 計	南 部	中 部	北 部
隊員保護用器具	耐電手袋	21	12	2	7
	耐電衣	3	3	0	0
	耐電ズボン	3	3	0	0
	耐電長靴	5	0	0	5
	防塵メガネ	45	27	10	8
	防毒マスク	12	3	6	3
	耐熱服	15	2	6	7
水難救助用器具	救命胴衣	34	19	7	8
	救命浮環	27	12	5	10
その他の救助用器具	投光器	19	7	7	5
	携帯投光器	59	30	7	22
	携帯拡声器	26	11	7	8
	携帯無線機	32	15	8	9
	応急処置セット	5	2	2	1
	緩降機	1	0	0	1
	発電機	26	14	5	7
	救助用降下機	0	0	0	0
	バスケット型担架	7	3	2	2

消 防 団



対馬市消防団 美津島第6分団（雞知）車両更新
消防ポンプ自動車（CD-1型）

消 防 団 の 機 構 図

令和4年4月1日 現在

対馬市消防団	団長	担当	筆頭副団長	副団長	指導員	分団数	実員	定員
	日高正隆	本 部					8	8
		厳原町	西山 広実	鎌田 成二 釜山 直樹 内田 英和 小島 英世	大庭 栄次 小畑 亮二	11	295	369
		美津島町	山口 実穂	波田 武治 田中 俊勝 西山 章	小島 清樹	10	297	341
		豊玉町	永留 増喜	原田 武茂 若松 雅衛 國分 寿一	原田 嘉光	5	258	289
		峰町	永留 秀敏	刈上 義臣 片山 純孝 網本 忠一		4	171	145
		上県町	津留 史好	長崎 章 阿比留 清徳 大石 則一		9	162	190
		上対馬町	築城 慎一	大浦 祥久 今村 純一 原 裕一	山本 祐介	12	225	258
合 計						51	1,416	1,600

消防団員の階級別・年齢別状況

令和4年4月1日現在

階級 年齢	合 計	うち女性消 防団員	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
18歳未満									
18 歳	1								1
19 歳	3								3
20 歳	3								3
21 歳	9							2	7
22 歳	1							1	10
23 歳	19							2	17
24 歳	11						1		10
25 歳	16	1					1	1	14
26 歳	13							3	10
27 歳	16	1						2	14
28 歳	11							3	8
29 歳	18							6	12
30 歳	20						2	3	15
31 歳	25						1	4	20
32 歳	28						1	9	18
33 歳	41						3	12	26
34 歳	48	1			1	1	4	7	35
35 歳	42				3	1	3	10	25
36 歳	27				2	2		3	20
37 歳	58				1		10	11	36
38 歳	52						8	13	31
39 歳	48				3	2	7	12	24
40 歳	64				2	4	14	13	31
41 歳	54	1			1	3	13	17	20
42 歳	73	1		1	5	7	15	19	26
43 歳	50				4	3	6	11	26
44 歳	53				3	3	12	9	26
45 歳	62				5	7	12	9	29
46 歳	53			1		1	12	11	28
47 歳	62	1		2	5	5	14	5	31
48 歳	58			2	7	8	7	6	28
49 歳	45			2	4		5	6	28
50 歳	28			1	1	2	5	1	18
51 歳	29			2	1	2	2	3	19
52 歳	36			2	2		3	5	24
53 歳	23			1	3		2	1	16
54 歳	21					1	4	5	11
55 歳	21			2	2		1	3	13
56 歳	25			3			2	1	19
57 歳	23			3	1		4	2	13
58 歳	18			1				1	16
59 歳	16							1	15
60 歳	13							1	12
61 歳	17								17
62 歳	11								11
63 歳	15			1			1	1	12
64 歳	16			1					15
65歳以上	54		1						53
計	1,460	6	1	25	56	52	175	235	916
平均年齢	43.6	36.0	65.0	52.8	45.1	44.0	43.3	40.3	44.1

消 防 団 階 級 別 人 員

上段（定員） 下段（実員）

（単位：人）

令和４年４月１日 現在

	担 当	団 長	副団長	指導員	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別消防団員	計
対馬市消防団	本 部	1	6						1		8
		1	6						1		8
	厳 原		4	3	11	11	34	45	261		369
			4	2	11	11	34	47	144	42	295
	美津島		3	2	10	10	39	49	228		341
			3	1	10	10	36	50	157	30	297
	豊 玉		3	1	6	6	35	41	197		289
			3	1	5	5	31	41	127	45	258
	峰		3	1	4	4	20	24	89		145
			3	0	4	4	20	24	79	37	171
	上 県		3	1	9	9	27	36	105		190
			3	0	9	9	23	30	67	21	162
	上対馬		3	1	12	12	29	41	160		258
			3	1	12	12	29	40	106	22	225
合 計		1	25	9	52	52	184	236	1,041		1,600
		1	25	5	51	51	173	232	681	197	1,416

消防団報酬

（単位：円）

令和４年４月１日 現在

区 分	団員出動報酬		
	単位	金額	備考
火災出動	４時間未満	４，０００円	
	４時間以上	８，０００円	
災害・検索	４時間未満	４，０００円	
	４時間以上	８，０００円	
警戒・災害待機	４時間未満	２，０００円	
	４時間以上	４，０００円	
訓練	１時間あたり	１，０００円	上限８，０００円 (操法訓練含まない)
夜警	１日２名まで １名あたり１，０００円	１，０００円	最大２週間